

余市町公共施設の在り方の検討

令和4年（2022年）7月

目次

1 公共施設再編の検討について	1-1
1.1 公共施設再編の検討フロー	1-1
1.2 再編の対象施設の整理	1-2
2 施設に関する評価の実施	2-1
2.1 施設に関する評価について	2-1
2.2 1次評価の実施	2-1
2.2.1 評価項目について	2-1
2.2.2 評価方法について	2-2
2.2.3 1次評価結果について	2-4
2.3 2次評価の実施	2-15
2.3.1 評価項目について	2-15
2.3.2 2次評価結果について	2-19
2.3.3 2次評価結果を踏まえた各施設の方向性について	2-20
3 公共施設の在り方の検討	3-1
3.1 用途や機能、運営に関する考え方	3-1
3.2 施設の維持管理に関する考え方	3-2
3.3 施設ごとの管理・運営方針	3-3
3.3.1 学校教育系施設	3-4
3.3.2 町民文化施設	3-5
3.3.3 社会教育系施設	3-6
3.3.4 スポーツ・レクリエーション施設	3-7
3.3.5 産業系施設	3-8
3.3.6 子育て支援施設	3-9
3.3.7 保健・福祉施設	3-10
3.3.8 行政系施設	3-11
3.3.9 その他	3-12
4 再エネ導入対象施設の抽出	4-1

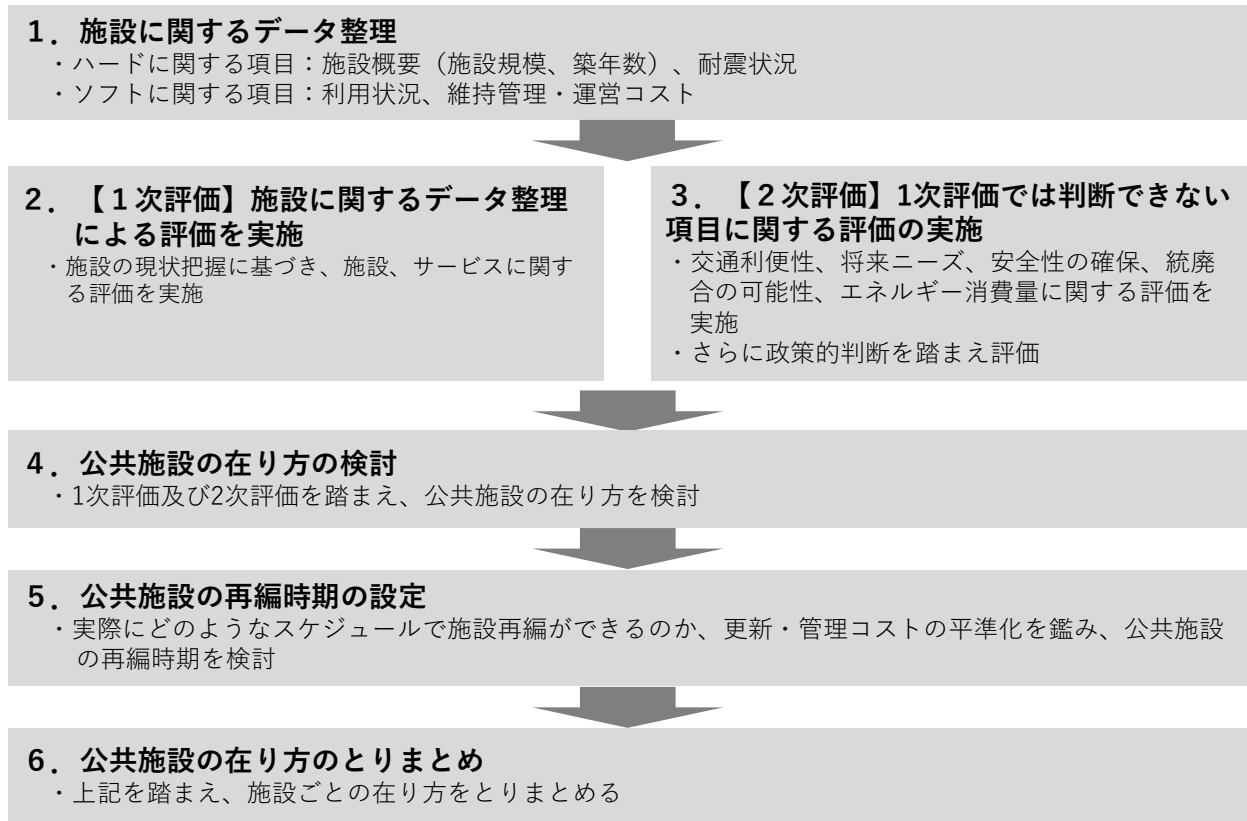
1 公共施設再編の検討について

1.1 公共施設再編の検討フロー

公共施設の再編検討に関するフローは以下の通りである。

また、公共施設再編の計画期間について、余市町公共施設等総合管理計画の計画期間を踏まえ、令和4年度（2022年度）から令和27年度（2045年度）とした。

図 1-1 公共施設再編の検討フロー



1.2 再編の対象施設の整理

ここでは、公共施設の再編に向けて、将来的に施設の統廃合が見込める「公共施設（建物）」を対象とした。

表 1-1 再編対象施設の整理

区分	施設名 (大分類)	再編対象の有無
一般会計	学校教育系施設	○
	公営住宅	×
	町民文化系施設	○
	社会教育系施設	○
	スポーツ・レクリエーション系施設	○
	産業系施設	○
	子育て支援施設	○
	保健・福祉施設	○
	行政系施設	○
	公園	○
	供給処理施設	×
	その他	○
	企業会計	上水道
下水道		×
インフラ資産	道路、橋梁、上下水道(管路)	×

※余市町公共施設等総合管理計画における分類

また、再編の検討においては、各施設における現在の主たる用途・機能を整理した上で、検討を進めることとした。

表 1-2 再編対象施設の整理

主たる用途・機能	施設数	対象施設	大分類
小学校	5	黒川小学校、沢町小学校、大川小学校、登小学校、旧栄小学校	学校教育系施設
中学校	3	東中学校、西中学校、旭中学校	
社会教育系施設	1	余市町図書館	社会教育系施設
	2	余市宇宙記念館、余市水産博物館	
スポーツ・レクリエーション施設	9	余市町温水プール、あゆ場公園、余市運動公園(テニスコート、野球場、陸上競技場)、自由広場、余市町総合体育館、余市町ジャンプ台施設、沢西児童生徒あけぼのプール	スポーツ・レクリエーション系施設
	1	円山公園ふれあい交流施設	
幼保・こども園	2	大川保育所、中央保育所	子育て支援施設
幼児・児童施設	2	沢町児童館、黒川児童館	
貸館	1	余市町中央公民館	町民文化施設
	8	勤労青少年ホーム・栄町農業構造改善センター・梅川町農業構造改善センター・水産加工研修センター・山田町農業構造改善センター・農村活性化センター・観光物産センター・労働福祉会館	産業系施設
	14	福祉センター・福祉センター入舟分館・登老人寿の家・豊丘老人寿の家・大浜中老人寿の家・美園会館・白岩会館・浜中会館・東大浜中福祉の家・黒川八幡生活館・黒川 17 区生活館・豊浜生活改善センター・黒川会館・余市町老人福祉センター	保険・福祉施設
	1	円山公園ふれあい交流施設	スポーツ・レクリエーション系施設
行政	1	余市町役場	行政系施設
倉庫	6	文書保管庫、水防倉庫、ソーラン倉庫、倉庫(資材用倉庫横)、除雪センター車庫及び事務所、除雪作業車等保管庫	
その他	3	余市町営斎場、農道離着陸場(管理棟含む)、余市消防署	その他

2 施設に関する評価の実施

2.1 施設に関する評価について

施設の評価に関して、施設のハード面（品質）及びソフト面（利用状況及び維持管理・運営コスト）を評価指標とするポートフォリオによる施設評価（1次評価）と、1次評価では評価できない交通利便性、将来ニーズ、安全性の確保、集約・複合化の可能性、エネルギー消費量に関する評価（2次評価）の2つの評価を実施した。

2.2 1次評価の実施

2.2.1 評価項目について

1次評価における施設のハード面（品質）及びソフト面（利用状況及び維持管理・運営コスト）に関して、以下の通り評価項目を設定した。

表 2-1 1次評価項目に関する考え方

評価項目		概要	調査項目の詳細	調査対象施設
ハードに関する項目	施設の築年数	施設の老朽度を評価	・築年数※ ※評価に際しては、木造の耐用年数を40年、それ以外を60年とし、老朽化度(経過年数÷耐用年数)を算出	・全施設
	施設の耐震性	施設の安全性を評価	・耐震性の状況	・全施設
ソフトに関する項目	施設の利用状況	施設の利用状況を評価	・園児・児童・生徒数(令和3年度の最新の状況) ・園児・児童・生徒1人当たりの延床面積	・小学校 ・中学校 ・幼保・こども園
			・施設の年間利用者数	・社会教育系施設 ・スポーツ・レクリエーション系施設 ・貸館施設
	維持管理・運営コスト※ ※平成29～令和元年度の過去3か年の平均とする。	施設の維持管理・運営コストを評価	・園児・児童・生徒1人当たりの維持管理・運営費	・小学校 ・中学校 ・幼保・こども園
・施設利用者1人当たりの維持管理・運営費			・社会教育系施設 ・スポーツ・レクリエーション系施設 ・幼児・児童施設 ・貸館施設	
		・施設の延床面積1㎡当たりの維持管理・運営費	・行政 ・その他	

2.2.2 評価方法について

1次評価にあたり、同様のサービスを有する施設が複数ある場合について、以下に示す通りポートフォリオ分析を実施した。実際の施設のサービス内容を踏まえ、比較評価可能な施設についてはサービス内容ごとに「ハード面」「ソフト面」の各々に関する偏差値を算出し、ポートフォリオ分析した上で、相対的に評価することで各施設の管理・運営の方向性を明確にした。

ハードに関する項目、ソフトに関する項目ともに、複数の評価項目があるため、統一的に評価できるように施設評価は原則偏差値による評価を実施し、さらに評価項目の合計値を平均化することで一つの評価点とする。

ハードに関する項目：「築年数」の偏差値+「耐震性」の偏差値→合計値を平均化

ソフトに関する項目：「利用状況」の偏差値+「運営コスト」の偏差値→合計値を平均化

※利用状況を踏まえるため使用料や交付税等、収入は考慮しない

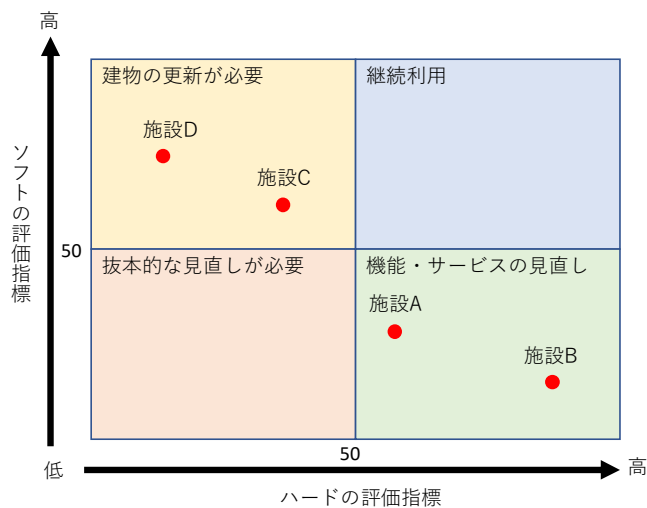


図 2-1 評価方法の考え方について

表 2-2 評価判定

評価	概要
継続利用	・当面は、現状維持・継続利用を行っていく。
建物の更新	・施設の修繕や改修等のハード面での改善の必要がある。
機能・サービスの見直し	・施設の利便性向上やコスト削減等のソフト面での改善の必要がある。
抜本的な見直し	・施設の存続等について検討する必要がある。

上記のポートフォリオ分析に基づき、以下の通り分析を行った。

表 2-3 評価分析の概要

評価項目		継続利用	建物の更新	機能・サービスの見直し	継続利用
ハードに関する項目	施設の築年数	評価項目の平均偏差値が 50 以上	評価項目の平均偏差値が 50 未満	評価項目の平均偏差値が 50 以上	評価項目の平均偏差値が 50 未満
	施設の耐震性				
ソフトに関する項目	施設の利用状況	評価項目の平均偏差値が 50 以上	評価項目の平均偏差値が 50 以上	評価項目の平均偏差値が 50 未満	評価項目の平均偏差値が 50 未満
	維持管理・運営コスト				

また、ポートフォリオは相対的な比較により評価を実施する手法であるため、機能として 1 施設しかない施設（類似施設を有しない施設）、もしくはポートフォリオ分析が不可（ハードに関する項目及びソフトに関する項目が得られない）施設については、データ整理可能な項目を踏まえ、分析を実施した。なお、各施設の評価単位を以下に示す。

表 2-4 評価単位と評価対象施設

主たる用途・機能	評価項目			
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目	
	施設の築年数	施設の耐震性	施設の利用状況	維持管理・運営コスト
小学校	○	○	○	○
中学校	○	○	○	○
社会教育系施設	○	○	○	○
スポーツ・レクリエーション施設	○	○	○	○
幼保・こども園	○	○	○	○
幼児・児童施設	○	○	○	○
貸館	○	○	○	○
行政	○	○	—	○
倉庫	○	○	—	—
その他	○	○	—	○

2.2.3 1次評価結果について

1次評価の各項目の調査結果は以下の通りである。

1) 小学校

小学校に関して、ポートフォリオ分析を実施した。その結果、余市町立沢町小学校を「継続利用」、余市町立登小学校・旧栄小学校を「機能・サービスの見直し」、余市町立黒川小学校・余市町立大川小学校を「建物の更新」と評価した。

表 2-5 小学校に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目						1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する評価				
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	児童数 (人)	児童1人当 りの面積 (㎡/人)	児童1人当 たりの 維持管理・運 営 コスト (円/人)	単位面 積当 たりの 維持管理・運 営 コスト (円/㎡)	
余市町立黒川小学校	38	不要	298	28.8	149,477	5,190	建物の更新
余市町立沢町小学校	19	不要	147	34.4	225,061	6,541	継続利用
余市町立大川小学校	47	実施済	236	22.9	172,648	7,543	建物の更新
余市町立登小学校	27	不要	12	104.6	1,894,250	18,112	機能・サービスの見直し
旧栄小学校	25	不要	0	0.0	1,046,000	705	機能・サービスの見直し

ポートフォリオ分析

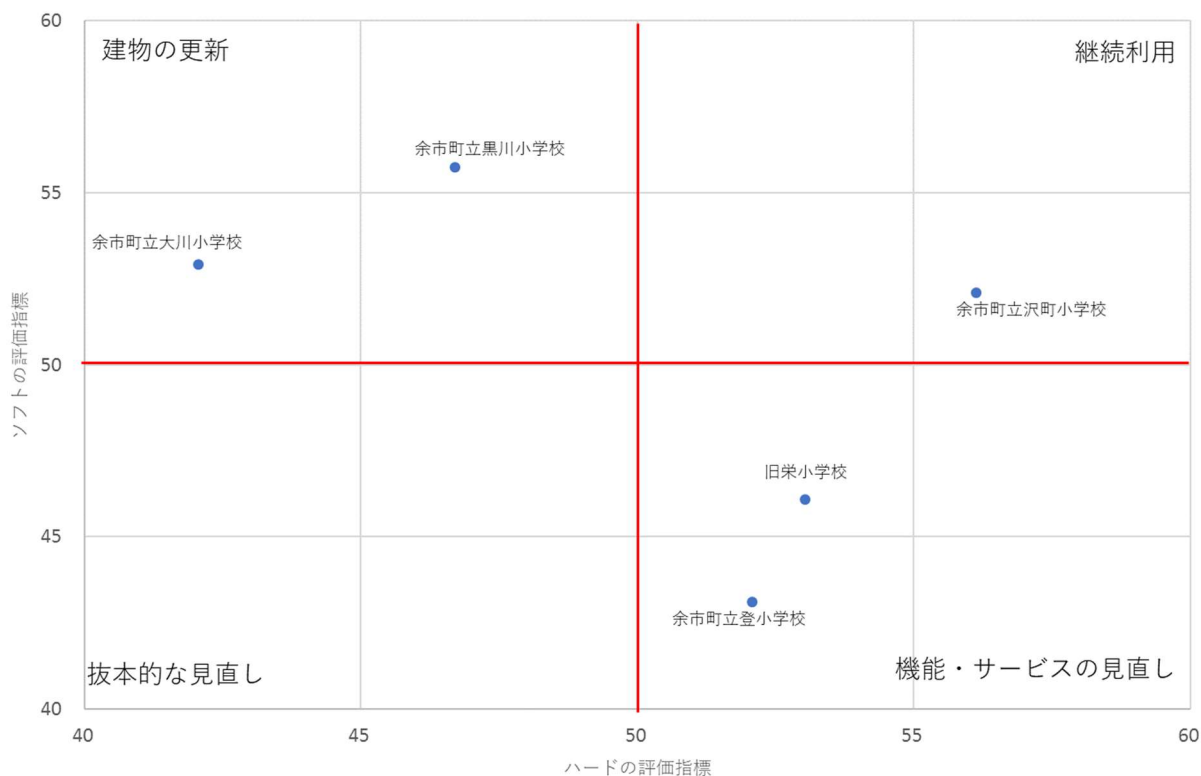


図 2-2 小学校に関するポートフォリオ分析結果

2) 中学校

中学校に関して、ポートフォリオ分析の結果、余市町立旭中学校を「継続利用」、余市町立東中学校・余市町立西中学校を「抜本的な見直し」と評価した。

表 2-6 中学校に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目						1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する評価				
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	生徒数 (人)	生徒1人当りの 面積 (㎡/人)	生徒1人当りの 維持管理・運営 コスト (円/人)	単位面積当りの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
余市町立東中学校	40	実施済	197	34.4	202,264	5,873	抜本的な見直し
余市町立西中学校	37	不要	91	63.7	374,945	5,882	抜本的な見直し
余市町立旭中学校	33	不要	123	55.9	306,260	5,474	継続利用

ポートフォリオ分析

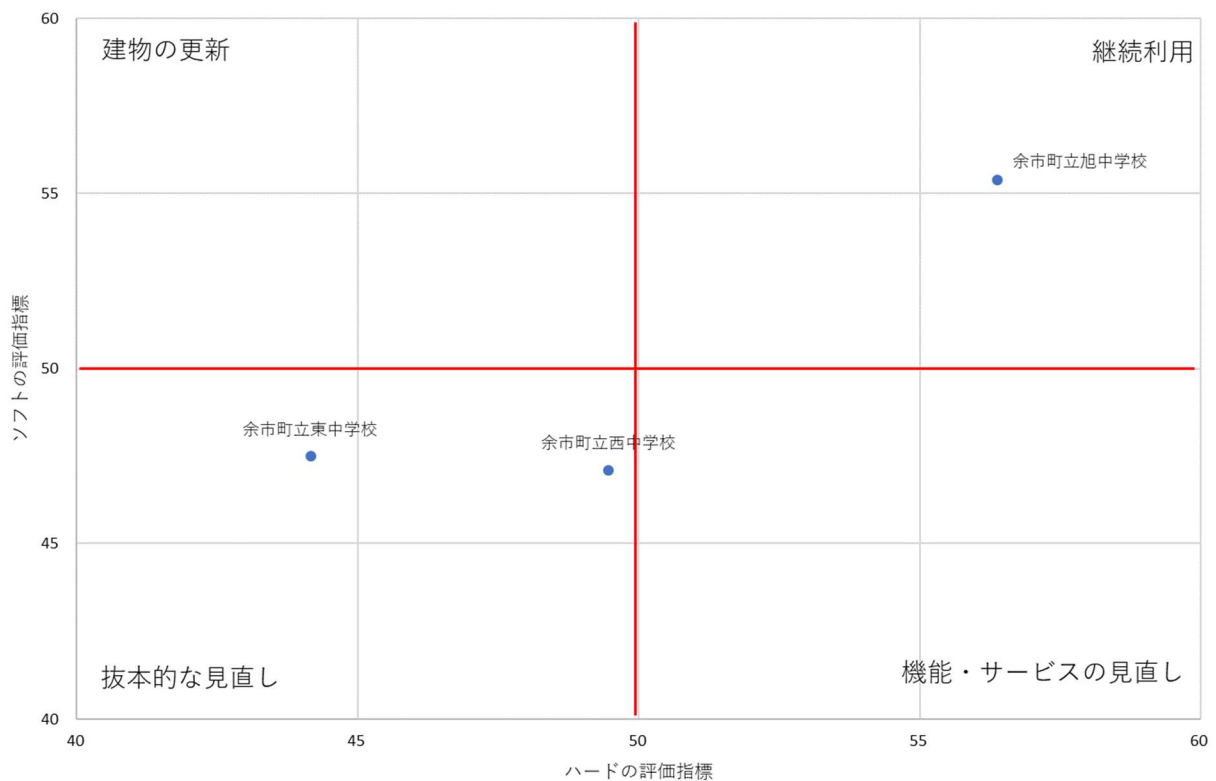


図 2-3 中学校に関するポートフォリオ分析結果

3) 社会教育系施設

社会教育系施設について、ポートフォリオ分析を実施した。その結果、余市宇宙記念館を「継続利用」、余市町図書館を「機能・サービスの見直し」、余市水産博物館※を「抜本的な見直し」と評価した。

表 2-7 社会教育系施設に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目					1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目			
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	年間 利用者数 (人)	利用者1人当たりの維 持管理・運営コスト (円/人)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
余市町図書館	31	不要	20,204	446	7,810	機能・サービスの見直し
余市宇宙記念館	24	不要	29,994	406	3,310	継続利用
余市水産博物館	53	未実施	3,055	4,701	10,189	抜本的な見直し

※余市水産博物館は余市町歴史民俗資料館を含む

ポートフォリオ分析

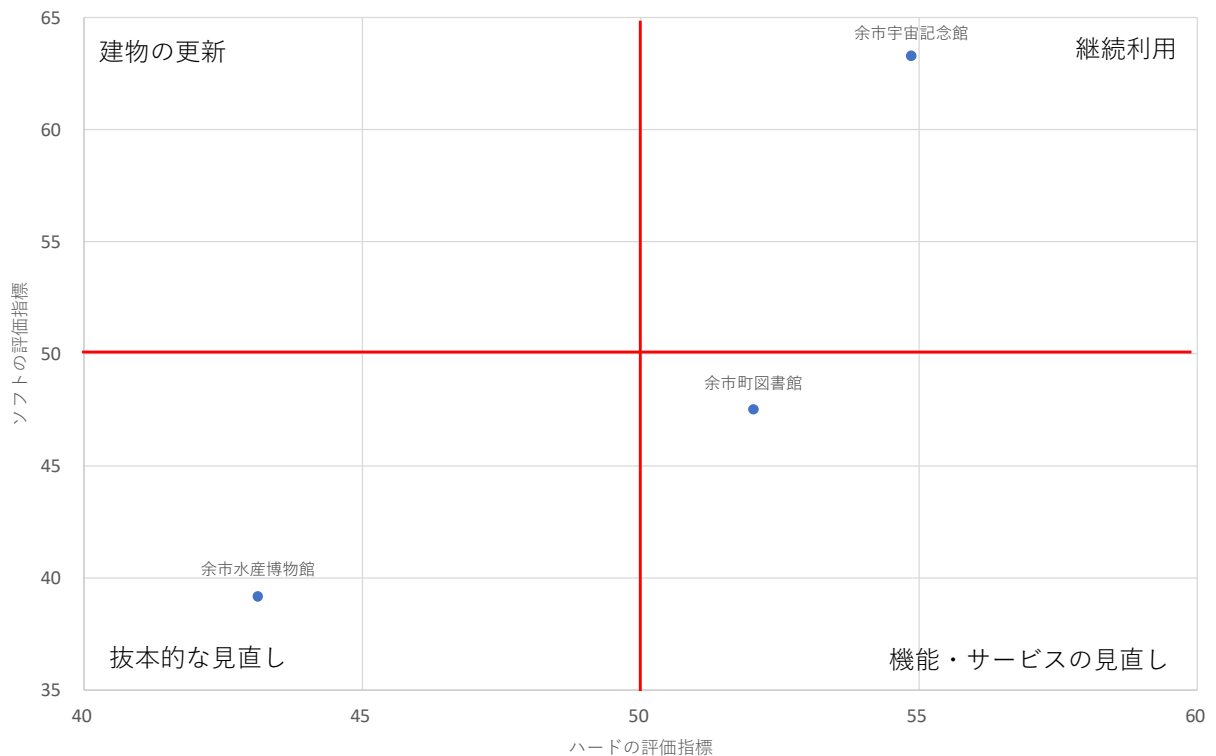


図 2-4 社会教育系施設に関するポートフォリオ分析結果

4) スポーツ・レクリエーション系施設

スポーツ・レクリエーション系施設について、ポートフォリオ分析を実施した。

その結果、あゆ場公園・テニスコート・野球場・陸上競技場・円山公園ふれあい交流施設を「継続利用」、自由広場・余市町総合体育館を「建物の更新」、余市町ジャンプ台施設を「機能・サービスの見直し」、余市町温水プール・沢西児童生徒あけぼのプールを「抜本的な見直し」と評価した。

表 2-8 スポーツ・レクリエーション系施設に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目					1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目			
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	年間 利用者数 (人)	利用者1人当たり の維持管理・運 営コスト (円/人)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
余市町温水プール	41	未実施	10,795	708	6,882	抜本的な見直し
あゆ場公園	15	不要	17,333	237	103	継続利用
余市運動公園（テニスコート）	42	-	406	550	74	継続利用
余市運動公園（野球場）	42	-	3,698	436	147	継続利用
余市運動公園（陸上競技場）	42	-	6,952	195	40	継続利用
自由広場（便所含む）	42	未実施	1,257	442	99	建物の更新
余市町総合体育館	40	未実施	50,061	408	4,761	建物の更新
余市町ジャンプ台施設	22	不要	1,695	1,856	8,425	機能・サービスの見直し
沢西児童生徒あけぼのプール	48	未実施	845	1,955	2,017	抜本的な見直し
円山公園ふれあい交流施設	24	不要	17,403	481	93	継続利用

ポートフォリオ分析

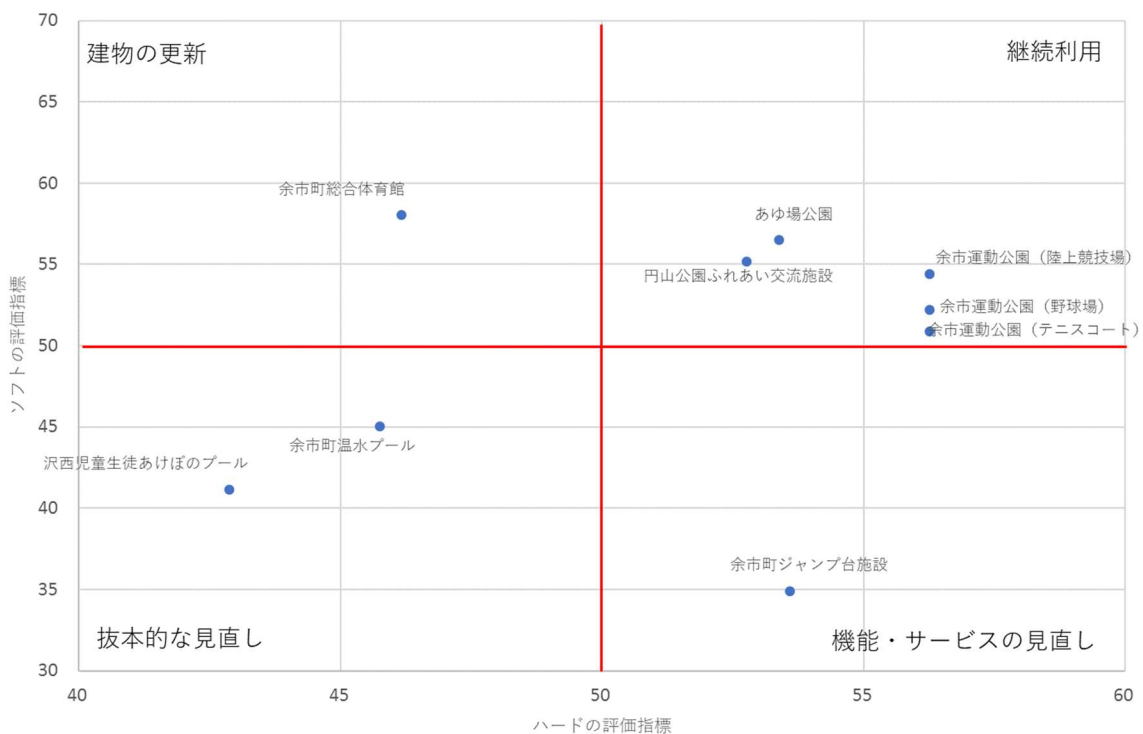


図 2-5 スポーツ・レクリエーション系施設に関するポートフォリオ分析結果

5) 幼保・こども園

幼保・こども園に関して、ポートフォリオ分析を実施した結果、大川保育所を「建物の更新」、中央保育所を「機能・サービスの見直し」と評価した。

表 2-9 産業系施設に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目						1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目				
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	園児数 (人)	園児1人当たりの 面積 (㎡/人)	園児1人当たりの維持 管理・運営コスト (円/人)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
大川保育所	44	未実施	51	8	61358	7,852	建物の更新
中央保育所	39	不要	44	9	70065	7,673	機能・サービスの見直し

ポートフォリオ分析

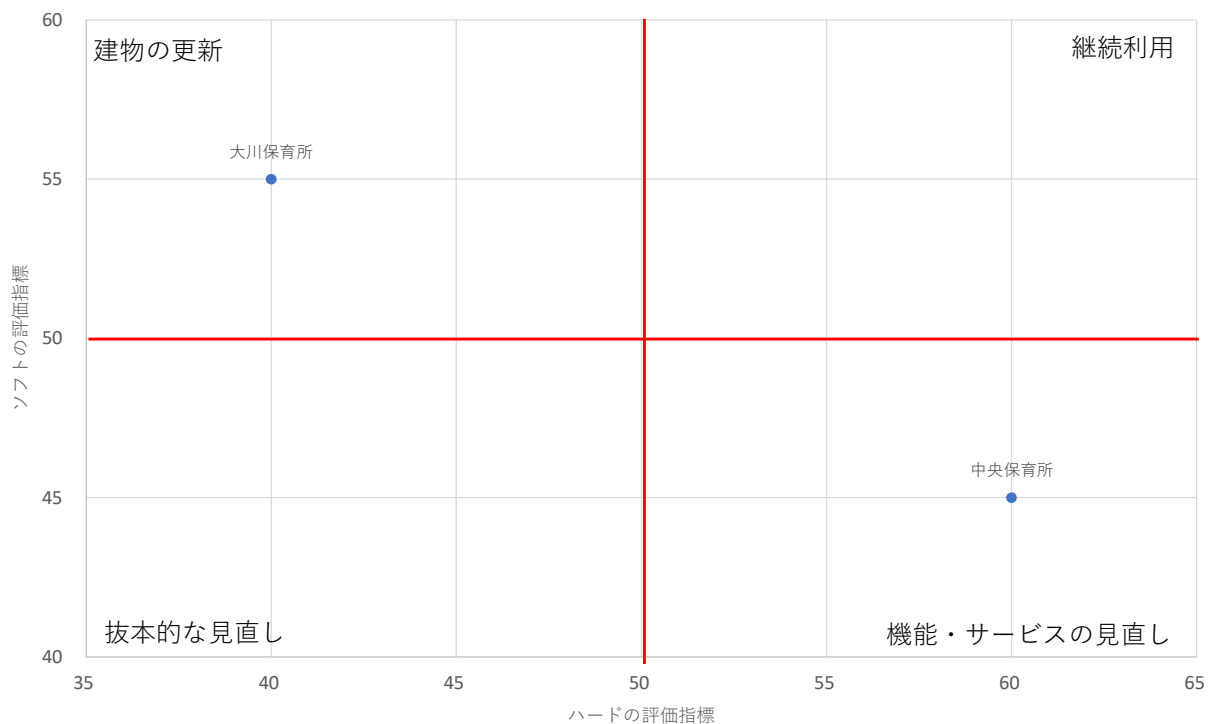


図 2-6 幼保・こども園に関するポートフォリオ分析結果

6) 幼児・児童施設

幼児・児童施設に関して、ポートフォリオ分析を実施した結果、沢町児童館を「継続利用」、黒川児童館を「抜本的な見直し」と評価した。

表 2-10 幼児・児童施設に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目					1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目			
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	年間 利用者数 (人)	利用者1人当たりの 維持管理・運営コ スト (円/人)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
沢町児童館	40	不要	5,832	654	12,221	継続利用
黒川児童館	55	未実施	869	2,662	8,247	抜本的な見直し

ポートフォリオ分析

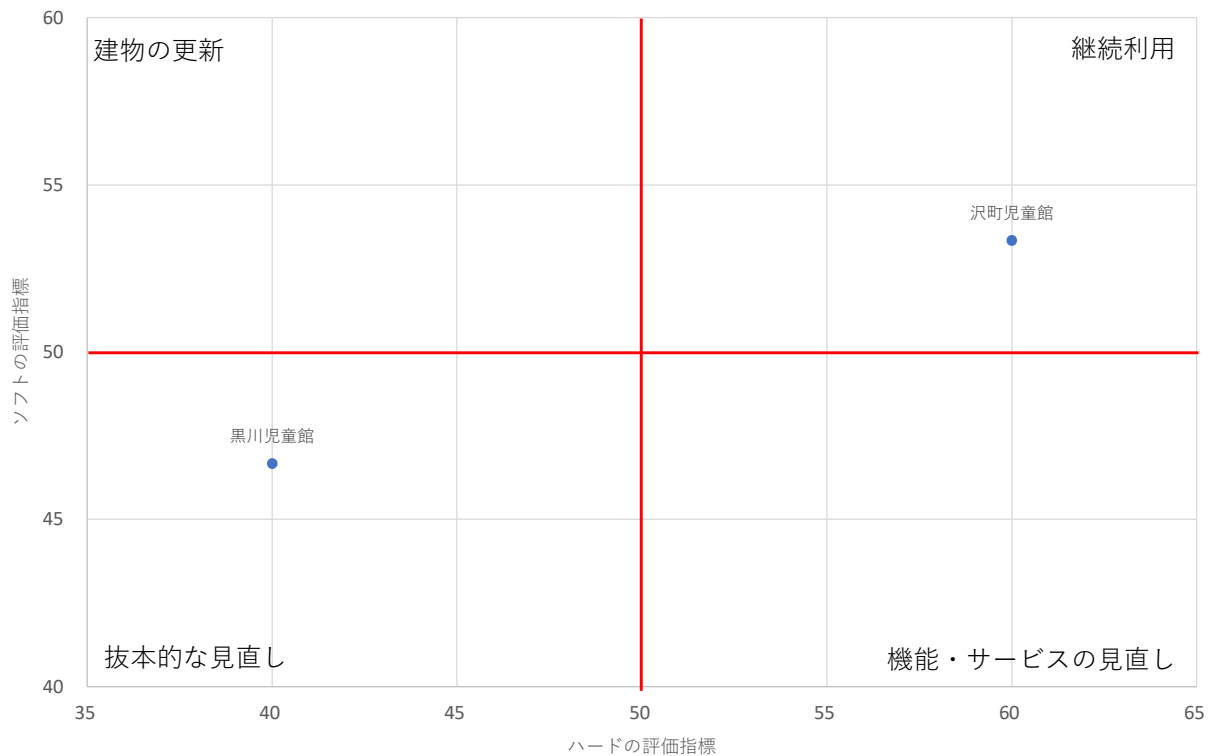


図 2-7 幼児・児童施設に関するポートフォリオ分析結果

7) 貸館

貸館機能を有する施設に関するポートフォリオ分析を実施した。

その結果、水産加工研修センター・浜中会館・美園会館・大浜中老人寿の家・豊浜生活改善センター・白岩会館・東大浜中福祉の家を「継続利用」、余市町中央公民館・勤労青少年ホーム・栄町農業構造改善センター・梅川町農業構造改善センター・山田町農業構造改善センター・労働福祉会館・福祉センター・黒川八幡生活館・黒川17区生活館・登老人寿の家・豊丘老人寿の家・黒川会館を「建物の更新」、農村活性化センター・観光物産センター・円山公園ふれあい交流施設（貸館部分）を「機能・サービスの見直し」、福祉センター入舟分館を「抜本的な見直し」、余市町老人福祉センターを「抜本的な見直し・機能・サービスの見直し」と評価した。

表 2-11 貸館に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目					1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目			
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	年間 利用者数 (人)	利用者1人当たり の維持管理・運 営コスト (円/人)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
余市町中央公民館	43	未実施	42,721	593	6,546	建物の更新
勤労青少年ホーム	45	未実施	5,130	722	5,558	建物の更新
栄町農業構造改善センター	36	不要	1,127	429	1,860	建物の更新
梅川町農業構造改善センター	35	不要	411	686	1,098	建物の更新
水産加工研修センター	34	不要	0	-	315	継続利用
山田町農業構造改善センター	30	不要	3,242	134	1,698	建物の更新
農村活性化センター	30	不要	1,875	7,652	14,668	機能・サービスの見直し
観光物産センター	26	不要	0	-	17,929	機能・サービスの見直し
労働福祉会館	37	不要	0	-	2,142	建物の更新
福祉センター入舟分館	55	未実施	4,599	875	8,247	抜本的な見直し
福祉センター	49	未実施	9,146	851	7,237	建物の更新
余市町老人福祉センター	42	未実施	7,450	925	13,312	抜本的な見直し・機能・サービスの見直し
浜中会館	40	不要	192	658	2,145	継続利用
美園会館	31	不要	162	743	1,761	継続利用
黒川八幡生活館	51	未実施	4,504	55	1,422	建物の更新
黒川17区生活館	49	未実施	517	580	1,746	建物の更新
登老人寿の家	46	未実施	609	453	996	建物の更新
豊丘老人寿の家	42	未実施	558	458	1,022	建物の更新
大浜中老人寿の家	38	不要	775	451	1,490	継続利用
豊浜生活改善センター	36	不要	189	1,293	1,152	継続利用
黒川会館	54	未実施	3,825	124	2,721	建物の更新
白岩会館	29	不要	0	-	1,447	継続利用
東大浜中福祉の家	25	不要	1,767	384	1,879	継続利用
円山公園ふれあい交流施設（貸館部分）	24	不要	103	81,330	7,844	機能・サービスの見直し

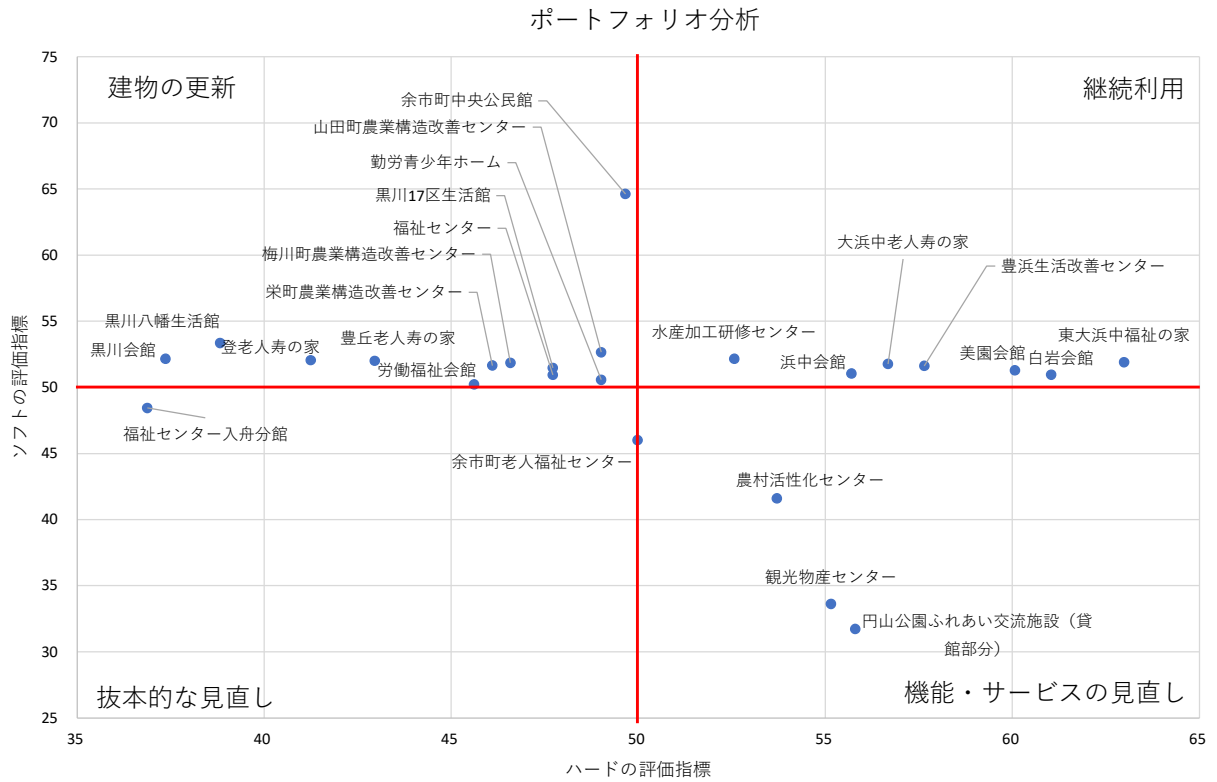


図 2-8 貸館に関するポートフォリオ分析結果

8) 行政

行政（余市町役場）については、類似施設がなくポートフォリオ分析ができないため、個別での評価を実施した。その結果、余市町役場については築年数が 49 年と老朽化が進行しているため、「建物の更新」と評価した。

表 2-12 行政に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目			1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目	
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
余市町役場	49	未実施	4,180	建物の更新

9) 倉庫

各種倉庫については、ハードに関する項目に基づき、評価を実施した。

その結果、除雪作業車等保管庫を「継続利用」、その他の倉庫を「建物の更新」と評価した。

表 2-13 倉庫に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目			1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目	
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	単位面積当たりの 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
文書保管庫	55	未実施	—	建物の更新
水防倉庫	不明	未実施	—	建物の更新
ソーラン倉庫	31	不要	—	建物の更新
倉庫（資材用倉庫横）	55	未実施	—	建物の更新
除雪センター車庫及び事務所	57	未実施	—	建物の更新
除雪作業車等保管庫	5	不要	—	継続利用

10) その他

その他については、類似施設がなくポートフォリオ分析ができないため、個別での評価を実施した。

その結果、余市町営斎場については築年数が48年と老朽化が進行しているとともに耐震性も未実施であるため、「建物の更新」と評価した。

また、農道離着陸場管理棟及び余市消防署については耐震性が未実施であるものの築年数が25年程度と他の公共施設と比較し、新しい施設に分類されるため、「継続利用」と評価した。

表 2-14 その他に関する1次評価結果

施設名称	1次評価の評価項目			1次評価結果
	ハードに関する項目		ソフトに関する項目	
	築年数 (年)	耐震性 (耐震補強)	単位面積 維持管理・運営 コスト (円/㎡)	
余市町営斎場	48	未実施	34,564	建物の更新
農道離着陸場(管理棟含む)	25	不要	18,021	継続利用
余市消防署	26	不要	-	継続利用

11) 全施設のポートフォリオ分析

参考に、全施設※を対象としたポートフォリオを実施した。その結果は、以下の通りとなる。なお、評価指標として、ハードに関する項目として「築年数(年)」「耐震性」、ソフトに関する評価として「単位面積当たりの維持管理・運営コスト(円/m²)」を設定した。

※評価指標に関する数値が得られない倉庫及び余市消防署を除く。



図 2-9 全施設を対象としたポートフォリオ分析結果

2.3 2次評価の実施

2.3.1 評価項目について

2次評価では、1次評価（施設の質や利用の状況等）では判断できない要素について、以下の表に基づき、評価を実施した。また、下表以外にも、政策的に優先的に実施すべき事業等を踏まえ、最終的に2次評価を実施した。

表 2-15 2次評価項目について

2次評価の項目	概要
交通利便性	・最寄のバス停からの距離(徒歩圏内か否か)により評価
将来ニーズ	・施設用途ごとの利用者の主な対象層について、将来人口の想定減少幅(平成27年度⇒令和27年度)の推移により評価
安全性の確保	・浸水想定、災害危険区域の有無により評価
集約・複合化の可能性	・類似機能を持つ施設(民間含む)との集約・複合化の可能性を評価
エネルギー消費量	・各施設の㎡あたりの年間エネルギー消費量(H30年度)の偏差値※を評価 ※同様のサービスを有する施設が複数あり、エネルギー消費量を比較できている場合にはサービス内容毎に偏差値を算出。また、同様のサービスを有する施設がないもしくはエネルギー消費量を比較できる施設がない場合には、それらの施設の中で偏差値を算出。

表 2-16 評価分析の概要

評価項目	各評価との関係		評価の概要	
	ハードの評価	ソフトの評価	評価基準	点数
交通利便性	-	○	有	1
			無	-1
将来ニーズ	-	○	-60%以内の減少	0
			-70%以内の減少	-1
			上記以上の減少	-2
安全性	-	○	無	1
			0.5~1.0m未満	-1
			1.0~2.0m未満	-2
			2.0~5.0m未満	-3
集約・複合化の可能性	○	○	他施設の機能の集約の可能性高	2
			他施設の機能の集約の可能性低(廃合される可能性高)	-2
	○	-	代替施設が無	0
エネルギー消費量	○	-	偏差値60以上	2
			偏差値40以上	0
			偏差値40未満	-2

表 2-17 1次評価の見直しの方向性

項目		評価の見直しの方向性
サービス面の評価	2以上	・「抜本的な見直し」⇒「建物の更新」の検討の余地あり ・「機能・サービスの見直し」⇒「継続利用」の検討の余地あり
	-1以上1以下	・基本的に1次評価を踏襲する
	-2以下	・「建物の更新」⇒「抜本的な見直し」の検討の余地あり ・「継続利用」⇒「機能・サービスの見直し」の検討の余地あり
施設面の評価	2以上	・「抜本的な見直し」⇒「機能・サービスの見直し」の検討の余地あり ・「建物の更新」⇒「継続利用」の検討の余地あり
	-1以上1以下	・基本的に1次評価を踏襲する
	-2以下	・「機能・サービスの見直し」⇒「抜本的な見直し」の検討の余地あり ・「継続利用」⇒「建物の更新の検討」の検討の余地あり

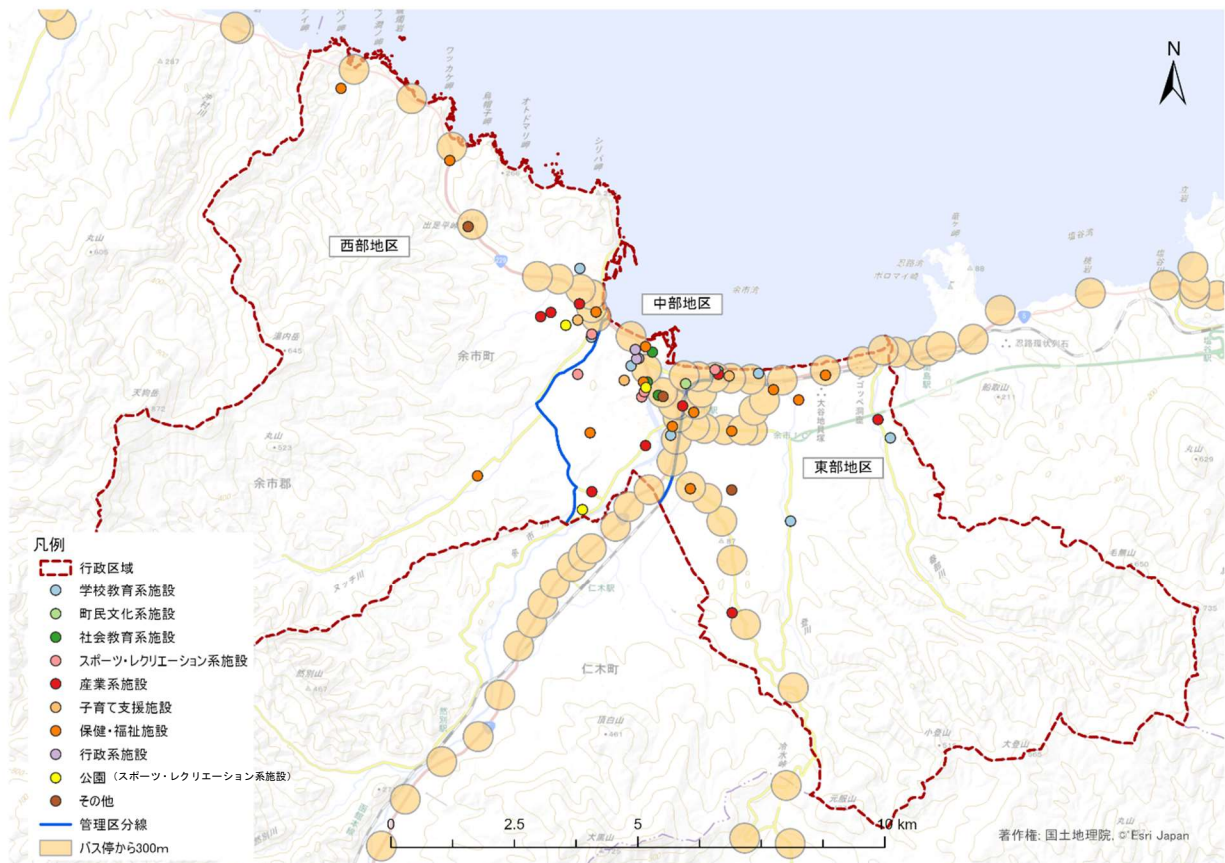


図 2-10 交通便利性(各施設とバス停の関係)

表 2-18 将来ニーズの考え方について

サービス内容	大分類	将来ニーズの考え方
小学校	学校教育系施設	施設が立地する地区の 5～14 歳人口の H27→R27 の増減率
中学校		
社会教育系施設	社会教育系施設	総人口の H27→R27 の増減率
スポーツ・レクリエーション施設	スポーツ・レクリエーション系施設	総人口の H27→R27 の増減率
幼保・こども園	子育て支援施設	施設が立地する地区の 0～4 歳人口の H27→R27 の増減率
幼児・児童施設	子育て支援施設	施設が立地する地区の 0～14 歳人口の H27→R27 の増減率
貸館	町民文化施設	各施設から徒歩カバー圏域(800m)の人口の H27→R27 の増減率
	産業系施設	
	保険・福祉施設	
庁舎	行政系施設	総人口の H27→R27 の増減率
公園(スポーツ・レクリエーション施設)	公園(スポーツ・レクリエーション系施設)	総人口の H27→R27 の増減率
斎場	その他	総人口の H27→R27 の増減率

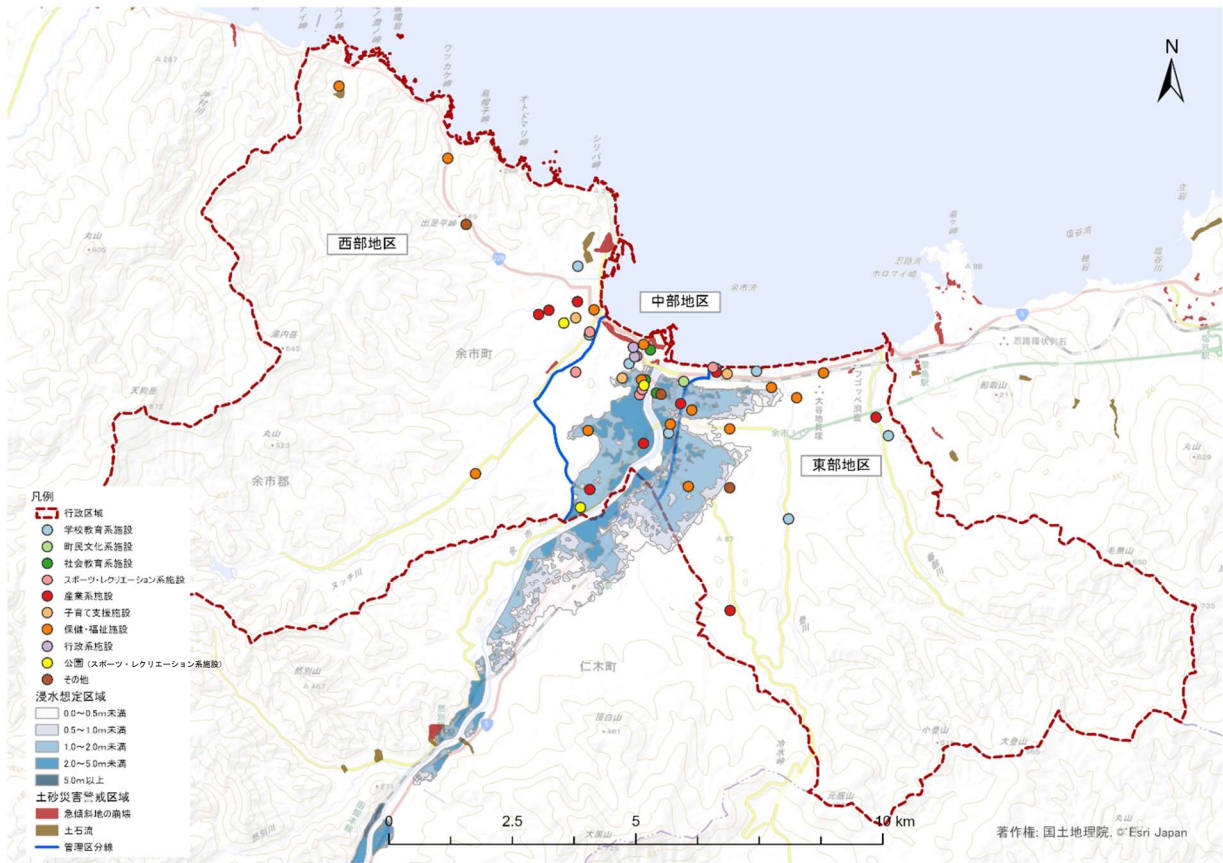


図 2-11 安全性の確保(各施設と浸水想定区域との関係)

避難場所等一覧

※「福祉避難所」を除く全ての避難先が「指定緊急避難場所」です。
そのうち滞在可能な施設を「指定避難所」として指定しています。

避難対象地区	番号	施設名	指定緊急避難場所	指定避難所	所在地	電話番号	地震	津波	洪水	土砂	海拔	
豊浜地区	①	豊浜生活改善センター	広場	◎	豊浜町209番地1	23-2690	○	○	×	×	9m	
	②	余市豊浜学園	—	福祉避難所	豊浜町293番地	22-2183	○	○	×	×	11m	
	③	旧潮見会館広場	—	—	潮見町139番地	—	○	○	×	×	11m	
潮見地区	④	白岩会館	広場	◎	白岩町179番地	23-3585	○	○	○	×	30m	
白岩地区	⑤	余市神社	◎	—	富沢町14丁目4番地	22-3840	○	○	×	×	20m	
沢、富沢、港 梅川地区	⑥	西中学校	グラウンド	◎	梅川町339番地	22-3086	○	○	○	○	6m	
	⑦	余市養護学校	—	福祉避難所	梅川町377番地3	23-7831	○	○	×	○	6m	
	⑧	即信寺	◎	—	梅川町826番地	22-2444	○	○	○	○	11m	
	⑨	水産加工研修センター	◎	◎	富沢町6丁目117番地	23-6216	○	×	○	○	2m	
	⑩	梅川町農業構造改善センター	◎	◎	梅川町1085番地5	23-4397	○	○	○	○	34m	
	⑪	沢町児童館	◎	◎	富沢町3丁目46番地	23-5673	○	×	○	○	3m	
	⑫	福祉センター	◎	◎	富沢町5丁目13番地	22-6228	×	×	○	○	2m	
	⑬	円山公園ふれあい交流施設	公園	◎	富沢町2丁目32番地1	23-4414	○	○	○	○	39m	
	⑭	永全寺	◎	—	富沢町2丁目21番地	22-2427	○	○	○	○	7m	
	⑮	宝隆寺	◎	—	沢町5丁目85番地	22-2201	○	○	○	○	7m	
	⑯	沢町小学校	グラウンド	◎	沢町4丁目22番地	22-3941	○	×	×	○	4m	
	⑰	かるな和順	—	福祉避難所	沢町5丁目77番地	22-2408	○	○	○	○	4m	
	⑱	余市紅志高等学校	グラウンド	◎	沢町6丁目1番地	23-3191	○	×	×	×	6m	
	⑲	余市町役場	◎	—	朝日町26番地	21-2111	○	○	○	○	12m	
	朝日、入舟 美園、山田 浜中地区	⑳	東中学校	◎	◎	朝日町71番地	22-3293	○	○	○	○	7m
		㉑	東中学校グラウンド	◎	—	朝日町71番地	22-3293	○	×	×	○	7m
		㉒	中央保育所	◎	◎	美園町43番地36	22-2159	○	×	×	○	2m
		㉓	福祉センター入舟分館	◎	◎	入舟町400番地	23-4338	×	×	×	○	2m
㉔		総合体育館	◎	◎	入舟町420番地	23-5210	×	×	×	○	2m	
㉕		余市運動公園	◎	—	入舟町420番地	21-2127(建設課)	○	×	×	○	2m	
㉖		介護老人保健施設よいち	—	福祉避難所	山田町201番地5	21-4567	○	○	×	○	2m	
㉗		美園会館	◎	◎	美園町319番地19	22-2098	○	○	×	○	4m	
㉘		山田町農業構造改善センター	◎	◎	山田町326番地	22-7061	○	×	×	○	3m	
㉙		農村活性化センター	◎	◎	山田町577番地	23-5568	○	○	×	○	5m	
豊丘地区	㉚	余市幸住学園	—	福祉避難所	豊丘町197番地	22-5515	○	○	○	○	23m	
	㉛	豊丘老人寿の家	◎	◎	豊丘町644番地2	22-2801	×	○	○	○	38m	
大川地区	㉜	グランデリビエール	津波避難ビル	—	大川町2丁目26番地	23-5254	×	○	×	×	5m	
	㉝	即信寺支院	◎	—	大川町4丁目96番地	22-4444	○	○	×	○	5m	
	㉞	中央公民館	◎	◎	大川町4丁目143番地	23-5001	×	○	×	○	2m	
	㉟	大川小学校	グラウンド	◎	大川町10丁目1番地	22-3887	○	×	×	○	4m	
	㊱	勤労青少年ホーム	◎	◎	大川町10丁目6番地2	23-5939	×	×	×	○	4m	
	㊲	大川保育所	◎	◎	大川町12丁目3番地2	23-6015	×	×	×	○	5m	
	㊳	太陽/ハイツ	津波避難ビル	—	大川町14丁目5番地1	22-2555	×	○	×	×	5m	
	㊴	旭中学校	グラウンド	◎	大川町16丁目1番地	22-2075	○	×	×	○	4m	
	㊵	大浜中老人寿の家	◎	◎	大川町19丁目23番地	22-4946	○	×	×	○	5m	
	㊶	ホテルサンアート	津波避難ビル	—	大川町6丁目35番地	22-6070	×	○	×	×	5m	
	黒川地区	㊷	農協会館	◎	◎	黒川町5丁目22番地	23-3121	×	○	×	○	2m
㊸		経済センター	◎	◎	黒川町3丁目114番地	23-2116	○	○	×	○	1m	
㊹		余市急法寺	◎	—	黒川町10丁目3番地121	23-5490	○	○	×	○	2m	
㊺		黒川会館	◎	◎	黒川町12丁目66番地1	23-7969	×	×	×	○	1m	
㊻		ふじ公園	◎	—	黒川町17丁目12番地2	21-2127(建設課)	○	×	×	○	3m	
㊼		フルーツ・シャトーよいち	—	福祉避難所	黒川町19丁目1番地2	22-5350	○	×	×	○	3m	
㊽		北星学園余市高等学校	◎	◎	黒川町19丁目2番地1	22-6211	○	○	×	○	3m	
㊾		北星学園余市高等学校グラウンド	◎	—	黒川町19丁目2番地1	22-6211	○	×	×	○	3m	
㊿		老人福祉センター	◎	◎	黒川町9丁目61番地4	23-7118	×	×	×	○	2m	
①		黒川小学校	グラウンド	◎	黒川町9丁目147番地	22-3686	○	×	×	○	3m	
②		黒川八幡生活館	◎	◎	黒川町572番地3	22-5469	×	×	×	○	4m	
③		都市公園予定地	◎	—	黒川町1268番地	21-2127(建設課)	○	×	×	○	5m	
登地区	④	黒川17区生活館	◎	◎	黒川町1224番地	23-7949	×	×	×	○	3m	
	⑤	下水道管理センター	◎	◎	登町136番地	22-6952	○	○	×	○	5m	
	⑥	下水道管理センター構内	◎	—	登町136番地	22-6952	○	×	×	○	5m	
	⑦	余市農道離着陸場	◎	—	登町742番地9	21-2125(農工観光課)	○	○	○	○	42m	
栄地区	⑧	登老人寿の家	◎	◎	登町1012番地12	23-2858	×	○	○	×	21m	
	⑨	登小学校	グラウンド	◎	登町1015番地	22-3525	○	○	○	×	23m	
	⑩	東大浜中福祉の家	◎	◎	栄町399番地104	23-3775	○	×	○	○	6m	
	⑪	栄町農業構造改善センター	◎	◎	栄町601番地3	22-3451	○	○	○	×	20m	
⑫	旧栄小学校	グラウンド	◎	栄町645番地	—	○	○	○	○	33m		

防災ガイドマップの地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得ている。「測量法に基づく国土地理院長の承認(使用) R 3JHs 265」

図 2-12 余市町の避難場所等一覧

2.3.2 2次評価結果について

2次評価の各項目に関する調査結果は以下の通りである。

表 2-19 2次評価結果

機能	施設名称	2次評価の評価項目						再エネ導入		2次評価結果	
		交通 利便性	将来 ニーズ	浸水想定	集約・複合化の可能性	エネルギー 消費量 (MJ)	単位面積あたり のエネルギー 消費量 (MJ/m ²)	ハード	ソフト		
貸館	東大浜中福祉の家	有	-40%	無	有	(大浜中老人寿の家との統合)	42,792	118.4	2	4	
貸館	白岩会館	有	-76%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	0	0.0	0	0	
貸館	美園会館	無	-45%	1.0~2.0m未満	代替無	(近隣に類似施設無し)	4,536	66.5	0	-3	
貸館	豊浜生活改善センター	無	-86%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	7,628	35.9	0	-2	
貸館	大浜中老人寿の家	有	-51%	無	有	(登老人寿の家等との統合)	23,537	100.4	2	4	
貸館	浜中会館	無	-62%	無	無	(福祉センター入舟分館への統合)	3,690	62.7	-2	-3	
貸館	余市町老人福祉センター	有	-50%	2.0~5.0m未満	有	(黒川会館他との統合)	254,675	492.2	0	1	
貸館	豊丘老人寿の家	無	-25%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	2,232	8.9	0	0	
貸館	登老人寿の家	無	-41%	無	有	(東大浜中福祉の家等との統合)	34,857	125.8	2	2	
貸館	福祉センター	有	-63%	無	有	(水産加工研修センターとの統合)	180,032	167.3	2	3	
貸館	黒川17区生活館	有	-44%	1.0~2.0m未満	代替無	(近隣に類似施設無し)	7,077	41.2	0	-1	
貸館	黒川八幡生活館	有	-39%	無	無	(新たに整備予定の道の駅への統合)	8,205	46.7	-2	0	
貸館	黒川会館	有	-42%	1.0~2.0m未満	無	(余市町老人福祉センター等への統合)	23,578	135.4	-2	-3	
貸館	福祉センター入舟分館	有	-52%	2.0~5.0m未満	有	(浜中会館との統合)	116,751	239.2	2	1	
貸館	余市町中央公民館	有	-46%	1.0~2.0m未満	有	(周辺の貸館施設との統合)	904,903	234.0	2	1	
博物館	余市宇宙記念館	有	-50%	1.0~2.0m未満	代替無	-	430,734	117.1	0	-1	
博物館	余市水産博物館	無	-50%	無	代替無	-	118,196	83.9	0	0	
図書館	余市町図書館	有	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	691,289	599.1	-2	-1	
幼保・こども園	中央保育所	無	-62%	2.0~5.0m未満	代替無	(近隣に類似施設無し)	158,571	394.7	0	-4	
幼保・こども園	大川保育所	有	-69%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	164,953	413.9	-2	1	
幼児・児童施設	沢町児童館	無	-66%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	70,838	226.9	2	-1	
幼児・児童施設	黒川児童館	有	-60%	2.0~5.0m未満	代替無	(近隣に類似施設無し)	67,094	239.2	0	-1	
貸館	観光物産センター	有	-42%	1.0~2.0m未満	無	(中央公民館他への統合)	565,156	652.0	-4	-3	
貸館	山田町農業構造改善センター	無	-53%	2.0~5.0m未満	無	(余市町老人福祉センター等への統合)	29,185	114.5	-2	-5	
貸館	農村活性化センター	無	-57%	0.5~1.0m未満	代替無	(近隣に類似施設無し)	103,063	105.4	0	-2	
貸館	水産加工研修センター	有	-63%	無	無	(福祉センター他への統合)	2,650	6.7	-2	-1	
貸館	梅川町農業構造改善センター	無	-69%	無	有	(労働福祉会館との統合)	7,790	30.3	2	1	
貸館	栄町農業構造改善センター	無	-59%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	4,180	16.1	0	0	
貸館	労働福祉会館	無	-67%	無	無	(梅川町農業構造改善センターへの統合)	11,372	24.8	-2	-3	
貸館	勤労青少年ホーム	有	-53%	無	代替無	(近隣に類似施設無し)	83,388	125.1	0	2	
倉庫	除雪作業車等保管庫	有	-	無	無	(他施設への統合)	-	-	-2	0	
倉庫	ソーラン倉庫	有	-	無	無	(他施設への統合)	-	-	-2	0	
倉庫	文書保管庫	有	-	無	無	(他施設への統合)	-	-	-2	0	
倉庫	倉庫(資材用倉庫横)	有	-	無	無	(他施設への統合)	-	-	-2	0	
倉庫	除雪センター車庫及び事務所	有	-	無	無	(他施設への統合)	-	-	-2	0	
倉庫	水防倉庫	有	-	無	無	(他施設への統合)	-	-	-2	0	
行政	余市町役場	有	-50%	無	代替無	-	1,450,719	362.0	0	2	
中学校	余市町立旭中学校	有	-65%	無	代替無	-	2,081,618	302.5	0	1	
中学校	余市町立西中学校	無	-66%	無	代替無	-	1,812,807	312.5	0	-1	
中学校	余市町立東中学校	無	-59%	無	代替無	-	1,491,413	219.8	2	0	
小学校	余市町立沢町小学校	無	-66%	無	代替無	-	1,483,950	293.4	0	-1	
小学校	旧栄小学校	無	-65%	無	代替無	(廃校)	0	0.0	2	-1	
小学校	余市町立登小学校	無	-65%	無	無	(大川小学校との統合)	409,137	326.0	-2	-3	
小学校	余市町立黒川小学校	有	-59%	1.0~2.0m未満	代替無	-	3,070,983	357.8	0	-1	
小学校	余市町立大川小学校	有	-65%	無	有	-	2,122,428	392.9	2	3	
その他	農道離着陸場(管理棟含む)	無	-	無	代替無	-	3,254	36.9	2	0	
その他	余市消防署	有	-	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	0	-1	
その他	余市町営斎場	有	-50%	無	代替無	-	889,489	2080.6	0	2	
貸館	円山公園ふれあい交流施設(貸館部分)	無	-50%	無	無	代替無	311,870	292	-4	-2	
スポーツ施設	あゆ場公園	無	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	0	-3	
スポーツ施設	円山公園ふれあい交流施設	無	-50%	無	代替無	-	311,870	292.1	0	0	
スポーツ施設	沢西児童生徒あけほのプール	無	-50%	無	無	(温水プールへの統合)	8,651	10.6	0	-2	
スポーツ施設	余市町ジャンプ台施設	無	-50%	無	代替無	-	105,400	282.4	0	0	
スポーツ施設	余市町総合体育館	無	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	-2	-3	
スポーツ施設	余市町温水プール	有	-50%	無	有	(余市町立沢町小学校プールとの統合)	-	-	2	4	
スポーツ施設	余市運動公園(テニスコート)	無	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	0	-3	
スポーツ施設	余市運動公園(野球場)	無	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	0	-3	
スポーツ施設	余市運動公園(陸上競技場)	無	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	0	-3	
スポーツ施設	自由広場(便所含む)	無	-50%	2.0~5.0m未満	代替無	-	-	-	0	-3	

2.3.3 2次評価結果を踏まえた各施設の方向性について

2次評価結果を踏まえた1次評価の見直しの方向性を以下の通り設定した。また、1次評価の見直しの方向性及び政策的判断を踏まえ、2次評価結果(最終)を次頁に示す通り設定した。

表 2-20 2次評価結果を踏まえた各施設の方向性

機能	施設名称	1次評価結果	1次評価の見直しの方向性
貸館	東大浜中福祉の家	継続利用	1次評価を踏襲
貸館	白岩会館	継続利用	1次評価を踏襲
貸館	美園会館	継続利用	機能・サービスの見直しの方向性
貸館	豊浜生活改善センター	継続利用	機能・サービスの見直しの方向性
貸館	大浜中老人寿の家	継続利用	1次評価を踏襲
貸館	浜中会館	継続利用	抜本的な見直しの方向性
貸館	余市町老人福祉センター	抜本的な見直し・機能・サービスの見直し	1次評価を踏襲
貸館	豊丘老人寿の家	建物の更新	1次評価を踏襲
貸館	登老人寿の家	建物の更新	継続利用の方向性
貸館	福祉センター	建物の更新	継続利用の方向性
貸館	黒川17区生活館	建物の更新	1次評価を踏襲
貸館	黒川八幡生活館	建物の更新	1次評価を踏襲
貸館	黒川会館	建物の更新	抜本的な見直しの方向性
貸館	福祉センター入舟分館	抜本的な見直し	機能・サービスの見直しの方向性
貸館	余市町中央公民館	建物の更新	継続利用の方向性
博物館	余市宇宙記念館	継続利用	1次評価を踏襲
博物館	余市水産博物館	抜本的な見直し	1次評価を踏襲
図書館	余市町図書館	機能・サービスの見直し	抜本的な見直しの方向性
幼保・こども園	中央保育所	機能・サービスの見直し	1次評価を踏襲
幼保・こども園	大川保育所	建物の更新	1次評価を踏襲
幼児・児童施設	沢町児童館	継続利用	1次評価を踏襲
幼児・児童施設	黒川児童館	抜本的な見直し	1次評価を踏襲
貸館	観光物産センター	機能・サービスの見直し	抜本的な見直しの方向性
貸館	山田町農業構造改善センター	建物の更新	抜本的な見直しの方向性
貸館	農村活性化センター	機能・サービスの見直し	1次評価を踏襲
貸館	水産加工研修センター	継続利用	建物の更新の方向性
貸館	梅川町農業構造改善センター	建物の更新	継続利用の方向性
貸館	栄町農業構造改善センター	建物の更新	1次評価を踏襲
貸館	労働福祉会館	建物の更新	抜本的な見直しの方向性
貸館	勤労青少年ホーム	建物の更新	1次評価を踏襲
倉庫	除雪作業車等保管庫	継続利用	建物の更新の方向性
倉庫	ソーラン倉庫	建物の更新	1次評価を踏襲
倉庫	文書保管庫	建物の更新	1次評価を踏襲
倉庫	倉庫(資材用倉庫横)	建物の更新	1次評価を踏襲
倉庫	除雪センター車庫及び事務所	建物の更新	1次評価を踏襲
倉庫	水防倉庫	建物の更新	1次評価を踏襲
行政	余市町役場	建物の更新	1次評価を踏襲
中学校	余市町立旭中学校	継続利用	1次評価を踏襲
中学校	余市町立西中学校	抜本的な見直し	1次評価を踏襲
中学校	余市町立東中学校	抜本的な見直し	継続利用の方向性
小学校	余市町立沢町小学校	継続利用	1次評価を踏襲
小学校	旧栄小学校	機能・サービスの見直し	1次評価を踏襲
小学校	余市町立登小学校	機能・サービスの見直し	抜本的な見直しの方向性
小学校	余市町立黒川小学校	建物の更新	1次評価を踏襲
小学校	余市町立大川小学校	建物の更新	継続利用の方向性
その他	農道離着陸場(管理棟含む)	継続利用	1次評価を踏襲
その他	余市消防署	継続利用	1次評価を踏襲
その他	余市町営斎場	建物の更新	1次評価を踏襲
貸館	円山公園ふれあい交流施設(貸館部分)	機能・サービスの見直し	抜本的な見直しの方向性
スポーツ施設	あゆ場公園	継続利用	機能・サービスの見直しの方向性
スポーツ施設	円山公園ふれあい交流施設	継続利用	1次評価を踏襲
スポーツ施設	沢西児童生徒あけぼのプール	抜本的な見直し	1次評価を踏襲
スポーツ施設	余市町ジャンプ台施設	機能・サービスの見直し	1次評価を踏襲
スポーツ施設	余市町総合体育館	建物の更新	抜本的な見直しの方向性
スポーツ施設	余市町温水プール	抜本的な見直し	継続利用の方向性
スポーツ施設	余市運動公園(テニスコート)	継続利用	機能・サービスの見直しの方向性
スポーツ施設	余市運動公園(野球場)	継続利用	機能・サービスの見直しの方向性
スポーツ施設	余市運動公園(陸上競技場)	継続利用	機能・サービスの見直しの方向性
スポーツ施設	自由広場(便所含む)	建物の更新	機能・サービスの見直しの方向性

表 2-21 2次評価結果(最終)の概要

機能	施設名称	2次評価結果(最終)	2次評価結果(最終)の概要
貸館	東大浜中福祉の家	継続利用	施設の状態や利用状況を踏まえ、継続利用とする。
貸館	白岩会館	機能・サービスの見直し	施設の状態や立地を踏まえ、機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	美園会館	機能・サービスの見直し	施設の利用状況を踏まえ、機能サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	豊浜生活改善センター	機能・サービスの見直し	施設の状態や利用状況を踏まえ、機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	大浜中老人寿の家	継続利用	施設の状態や利用状況を踏まえ、継続利用とする。
貸館	浜中会館	抜本的な見直し	施設の利用状況を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を行う。
貸館	余市町老人福祉センター	抜本的な見直し	施設の耐用年数や立地を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を行う。
貸館	豊丘老人寿の家	建物の更新	施設の耐用年数や立地を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
貸館	登老人寿の家	抜本的な見直し	施設の耐用年数や立地を踏まえ、建物の抜本的な見直しに向けた検討を行う。
貸館	福祉センター	建物の更新	施設の耐用年数や利用状況を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
貸館	黒川17区生活館	建物の更新	施設の耐用年数や立地を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
貸館	黒川八幡生活館	抜本的な見直し	新たなる整備する道の駅との統合に向けた検討を行う。
貸館	黒川会館	抜本的な見直し	施設の状態や立地を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を行う。
貸館	福祉センター入舟分館	抜本的な見直し	施設の耐用年数を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を行う。
貸館	余市町中央公民館	建物の更新	施設の耐用年数を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
博物館	余市宇宙記念館	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
博物館	余市水産博物館	建物の更新	施設の耐用年数を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
図書館	余市町図書館	継続利用	代替施設がないため、継続利用とする。
幼保・こども園	中央保育所	機能・サービスの見直し	利用状況を踏まえ、機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
幼保・こども園	大川保育所	建物の更新	施設の耐用年数を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
幼児・児童施設	沢町児童館	建物の更新	施設の状態や利用状況を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
幼児・児童施設	黒川児童館	抜本的な見直し	施設の耐用年数を踏まえ、抜本的な見直しに向けた検討を行う。
貸館	観光物産センター	機能・サービスの見直し	観光センターとしての機能を踏まえ、機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	山田町農業構造改善センター	機能・サービスの見直し	施設の利用状況を踏まえ、他施設との統合等の機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	農村活性化センター	機能・サービスの見直し	施設の立地を踏まえ、機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	水産加工研修センター	機能・サービスの見直し	施設の利用状況を踏まえ、他施設との統合等の機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
貸館	梅川町農業構造改善センター	継続利用	施設の状態や立地を踏まえ、継続利用とする。
貸館	栄町農業構造改善センター	継続利用	施設の状態や立地を踏まえ、継続利用とする。
貸館	労働福祉会館	抜本的な見直し	利用状況を踏まえ、抜本的な見直しを行う。
貸館	勤労青少年ホーム	建物の更新	施設の耐用年数を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
倉庫	除雪作業車等保管庫	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
倉庫	ソーラー倉庫	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
倉庫	文書保管庫	抜本的な見直し	施設の状態を踏まえ、抜本的な見直しを検討を行う。
倉庫	倉庫(資材用倉庫横)	抜本的な見直し	施設の状態を踏まえ、抜本的な見直しを検討を行う。
倉庫	除雪センター車庫及び事務所	抜本的な見直し	施設の状態を踏まえ、抜本的な見直しを検討を行う。
倉庫	水防倉庫	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
行政	余市町役場	建物の更新	施設の状態を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
中学校	余市町立旭中学校	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
中学校	余市町立西中学校	機能・サービスの見直し	他校との統合等の機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
中学校	余市町立東中学校	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
小学校	余市町立沢町小学校	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
小学校	旧栄小学校	機能・サービスの見直し	すでに廃校となっているため、機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
小学校	余市町立登小学校	機能・サービスの見直し	他校との統合等の機能・サービスの見直しに向けた検討を行う。
小学校	余市町立黒川小学校	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
小学校	余市町立大川小学校	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
その他	農道離着陸場(管理棟含む)	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
その他	余市消防署	建物の更新	施設の立地を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
その他	余市町営畜場	抜本的な見直し	周辺自治体との施設の統廃合を含めた検討を行う。
貸館	円山公園ふれあい交流施設(貸館部分)	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
スポーツ施設	あゆ場公園	継続利用	施設の状態や利用状況を踏まえ、継続利用とする。
スポーツ施設	円山公園ふれあい交流施設	継続利用	施設の状態を踏まえ、継続利用とする。
スポーツ施設	沢西児童生徒あけぼのプール	抜本的な見直し	周辺自治体との施設の統合を含めた抜本的な見直しに向けた検討を行う。
スポーツ施設	余市町ジャンプ台施設	継続利用	代替施設がないため、継続利用とする。
スポーツ施設	余市町総合体育館	建物の更新	代替施設がない。また施設の耐用年数を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。
スポーツ施設	余市町温水プール	抜本的な見直し	周辺自治体との施設の統廃合を含め、抜本的な見直しに向けた検討を行う。
スポーツ施設	余市運動公園(テニスコート)	継続利用	代替施設がないため、継続利用とする。
スポーツ施設	余市運動公園(野球場)	継続利用	代替施設がないため、継続利用とする。
スポーツ施設	余市運動公園(陸上競技場)	継続利用	代替施設がないため、継続利用とする。
スポーツ施設	自由広場(便所含む)	建物の更新	代替施設がない。また、施設の耐用年数を踏まえ、建物の更新に向けた検討を行う。

3 公共施設の在り方の検討

1 次評価及び 2 次評価及び、余市町公共施設等総合管理計画の「公共施設等の管理に関する基本的な考え方」をもとに、各施設の用途・機能・運営に関する考え方と、各施設の躯体の維持管理に関する考え方を設定した。公共施設のあり方については、余市町総合計画や余市町都市計画マスタープランなどの既存の関連計画を踏まえ、現状維持・複合化・統合・廃止・民間参入といった検討を行う。検討結果については関連計画が新たに策定された場合や見直しされた場合、また急激な社会情勢の変化が起こった場合など、随時見直しを行う。

3.1 用途や機能、運営に関する考え方

施設の用途や機能、運営に関する考え方を以下の通り設定した。

表 3-1 用途や機能、運営に関する考え方

項目	概要
将来を見据えた用途や機能の選択	全国的な人口減少の加速化により、税収や地方交付税など収入の減少が想定される一方、行政に対する町民ニーズの多様化により、行政サービスに係る費用は増加することが予想される。公共施設を整備した当時から人口減少が進み人口構成比が変化した現在では、町の状況や求められる機能も変わっており、単純に維持・更新することは現実的ではない。 そのため、公共施設として行政が有すべき用途や機能は、社会情勢の変化や町民ニーズを踏まえたうえで真に必要なものを適宜選択する。
人口動態などに基づいた全体面積のコントロール	公共施設全体の延床面積は、人口や人口構成の変化、財源等の条件により、適切に調整することが重要である。本町の町民一人当たりの建物系公共施設の床面積は、2010 年度(平成 22 年度) は 5.50 m ² であり、人口規模 17.5 千～ 20 千人の自治体平均の床面積 5.94 m ² と比較して全国平均以下であるが、現在の床面積を維持した場合、2025 年度(令和 7 年度) には 6.95 m ² 、2035 年度(令和 17 年度) には 8.37 m ² と予想される。これを仮に 2010 年度の人口規模 17.5 千～ 20 千人の自治体平均の床面積 5.94 m ² と同程度にするためには、2035 年度には、現在と比較し約 34,000 m ² 削減する必要がある。依って、新設、更新が必要な場合であっても、全体の延床面積を一定の範囲内にコントロールする事を念頭に、費用対効果を十分に検証して整備・更新を行うことを検討する。
既存施設の用途の転用、複合化による有効活用	耐久性の高い構造躯体をもつ施設は、既存の構造躯体を利用し、内装、設備等の改修を行う用途変更、他の施設と集約し、一棟の建物に複数の施設を盛り込む複合化等の検討を行い、社会情勢の変化や町民のニーズに対応できないか検討する。
公平性に基づく受益者負担の適正化	公共施設の維持管理経費は、町税等の一般財源と施設利用者による受益の対価(使用料等) から賄われている。公共施設の使用料などは、公共施設を利用しない人との公平性に考慮するとともに社会の経済状況の変化、施設の利用実態に合わせて、定期的に使用料等の適切性を検討する。
協働の理念に基づく維持管理・運営	限られた財源で社会情勢の変化に適切に対応し、様々な行政サービスを提供していくためには、行政が主体的に担ってきた公共サービスを、地域の団体等と連携して進めることが重要な課題となっている。 今後は、多様化するニーズや地域課題を解決するため、まちづくりにおける行政の役割を再検討し、町民をはじめ、民間企業、社会福祉法人、NPO 法人等との連携・協力を検討する。

項目	概要
指定管理者制度、PPP及びPFI、民間提案制度等による民間ノウハウの活用	本町では、一部の施設において指定管理者制度を導入しているが、新たな施設を建設する際はもちろんのこと、既存施設の運営や利活用についても、効果的で質の高い公共サービスを目指すべく、PPP及びPFI、民間提案制度など、民間のノウハウの活用について随時検討する。また公共施設として一定の役割を終えたものや利活用が見込めない施設については、地域住民や地域経済への貢献を目的として、民間への売却や譲渡を検討する。

3.2 施設の維持管理に関する考え方

施設の維持管理に関する考え方を以下の通り設定した。

表 3-2 施設の維持管理に関する考え方

項目	概要
点検・修繕等の実施方針	施設の長寿命化及び維持管理費と修繕費の平準化を図るため、日常的・定期的な点検を行う。点検の結果は、毎年度の予算編成時に財政部門等と共有し、全庁的に公共施設等の予防保全や修繕を計画的に行うための検討材料とする。
安全確保の実施方針	公共施設における安全確保は、利用者の安全を確保し、万一の事故・事件・災害に遭遇したときに損害を最小限にとどめ、速やかに復旧する体制を整える。 施設利用者が安心かつ安全に公共施設(建物)を利用できるよう、点検や診断とともにバリアフリー状況を確認し、施設利用者の安全確保に向けた対応策を実施する。 危険性が高いと認められた施設については、安全確保の改修を実施、又は総合的に判断し、改修せずに供用廃止、他施設への機能移転を検討する。
長寿命化・耐震化の実施方針	定期的な点検・診断に基づく総合的・計画的な管理による予防保全を行い、長期使用を図る。(総合的・計画的な管理とは、点検・保守・修繕、清掃・廃棄物管理を計画的に行い、公共施設等を良好な状況に維持すること。) また、小規模な改修工事や点検・保守・修繕を定期的に行い、性能・機能を初期性能あるいは許容できるレベル以上に保つ。 公共施設の在り方を検討した結果、長期にわたり継続して使用する必要があると判断された施設で、長寿命化・耐震化が必要な場合は、計画的に改修工事を推進していく。
計画的な管理を実現するための体制の構築方針	公共施設は、施設類型(公営住宅、学校など)ごとに各部局が所管しており、必ずしも公共施設等の管理に関する情報が全庁的に共有されていない。 公共施設の複合化や用途変更など既存の施設類型の枠組みにとらわれない検討が必要であることから、各部局を横断する検討組織を組織し、公共施設に関する情報の共有・一元化・定期的更新及び、施設管理の進捗状況把握と計画の改善を進めていく。 また、民間活力の導入など、新たな公共施設のあり方について、庁内での意識の共有を図る。

3.3 施設ごとの管理・運営方針

「3.1 用途や機能、運営に関する考え方」及び「3.2 施設の維持管理に関する考え方」を踏まえ、施設ごとの管理・運営方針の設定に際して、以下に示す「施設の方針」及び「機能の方針」の設定を行った。

表 3-3 施設ごとの管理・運営方針の設定

項目	方針	今後の主な取組方針
施設の方針	長寿命化・耐震化の実施	・大規模改修や耐震化の実施により施設を長期使用する。
	現状維持	・必要に応じて小規模な改修を行いながら、当面の間は施設を現状のまま継続的に利用する。
	解体撤去	・財源を確保した上で解体撤去を行う。
	売却・譲渡	・民間への売却や譲渡を検討する。
用途や機能運営の方針	現在のサービスを維持	・現在のサービスを維持する。直営で管理・運営している施設については民間による効率的な運営・サービス改善が見込まれる場合に民活を導入する。
	他施設との統合	・同じ施設分類で同様のサービスの提供可能な施設がある場合に統合・廃止する。(他自治体の施設の統合含む) ・施設の統合に際して、民間による効率的な運営・サービス改善が見込まれる場合に民活を導入する。
	機能の複合化	・施設分類が異なる施設を含め、集約化することにより合理化が図れる場合に、共用可能な建物やスペースを複合化する。 ・施設の複合化に際して、民間による効率的な運営・サービス改善が見込まれる場合に民活を導入する。
	他用途への変更	・各機能の充足度を踏まえ、不足する機能への転用等を検討する。 ・多用途への変更に際しては、民活の導入をする。

3.3.1 学校教育系施設

【概要】

- ・小・中学校は、1973 年度から 2002 年度の間建設されている。
- ・全棟耐震性が確認されている。

【方針】

- ・当面は現状維持と想定するが、今後の社会情勢や将来の人口動向、関連計画を踏まえ、所管部署において統廃合の可能性について検討を進める。築年数が相当経過している施設もあるが、耐震性が確認されている施設は町内でも少ないため、統廃合の検討の結果、学校としての機能が廃止となる施設については、他用途への変更や民間参入を検討する。
- ・登小学校については少人数学級として町内でも特色ある教育を実施しており、地域住民が一体となった取組もあることから、当面現状維持とする。
- ・旧栄小学校については学校としての機能は廃止となっているが、町内の公共施設としては比較的新しく、特異な構造や郊外部という立地を踏まえ、他用途への変更のほか、民間のノウハウを活用することで地域住民や地域経済への還元が期待されることから、売却や譲渡を含めた民間参入を検討する。

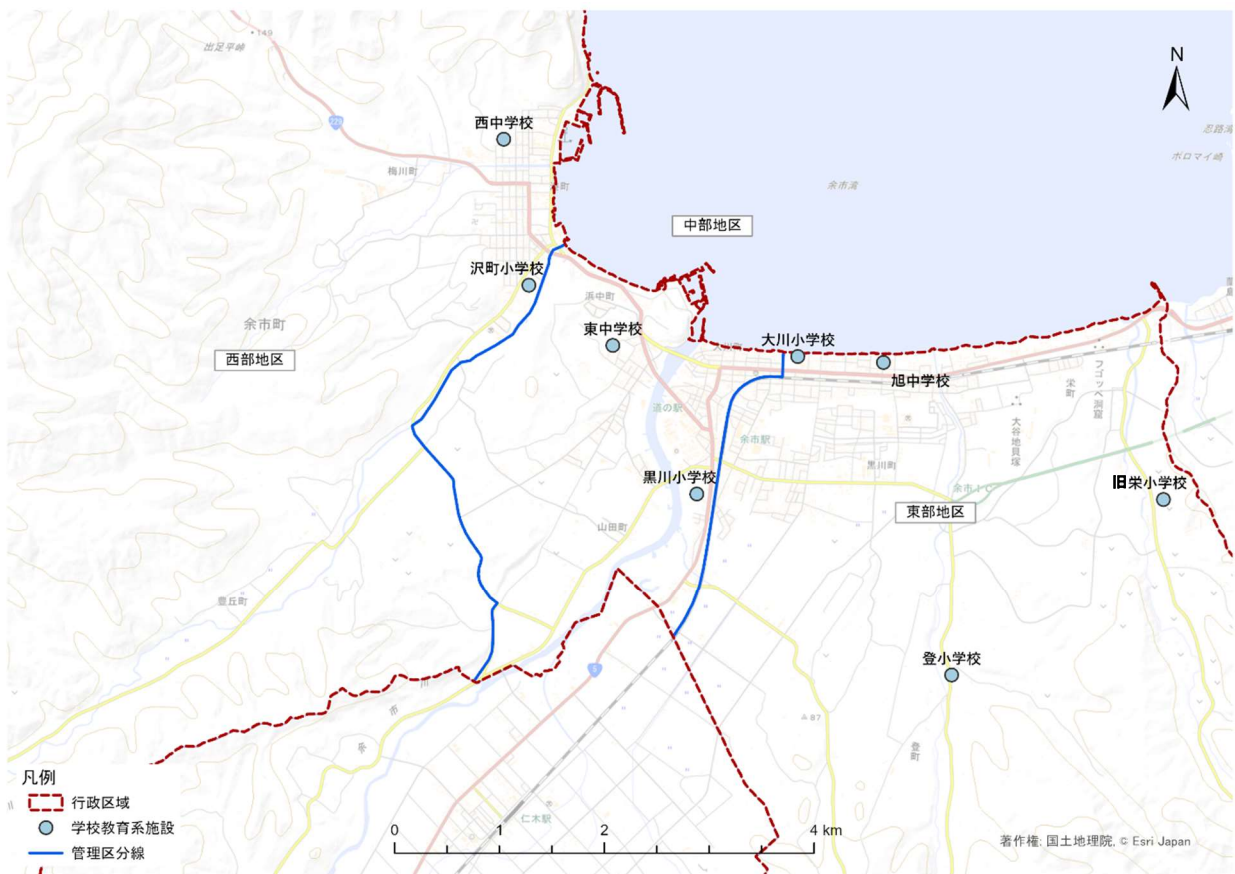


図 3-1 学校教育系施設に関する施設分布状況

3.3.2 町民文化施設

【概要】

- ・中央公民館は、1978 年度に建設されている。
- ・年間利用者数は約 42,700 人と貸館機能を有している施設は最多の利用状況であり、町を代表する集会施設としての役割を果たしている。

【管理・運営方針】

- ・中央公民館は、築 43 年経過しており、経年劣化による施設の老朽化が進んでいる。そのため、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。また、余市町の拠点施設としての重要な役割を担っていることから、周辺施設の貸館機能を有する施設の状況を踏まえつつ、統合・複合化についても検討を進める。
- ・R4 年度から着手予定の立地適正化計画の内容を踏まえ明確な方針を定めることとする。

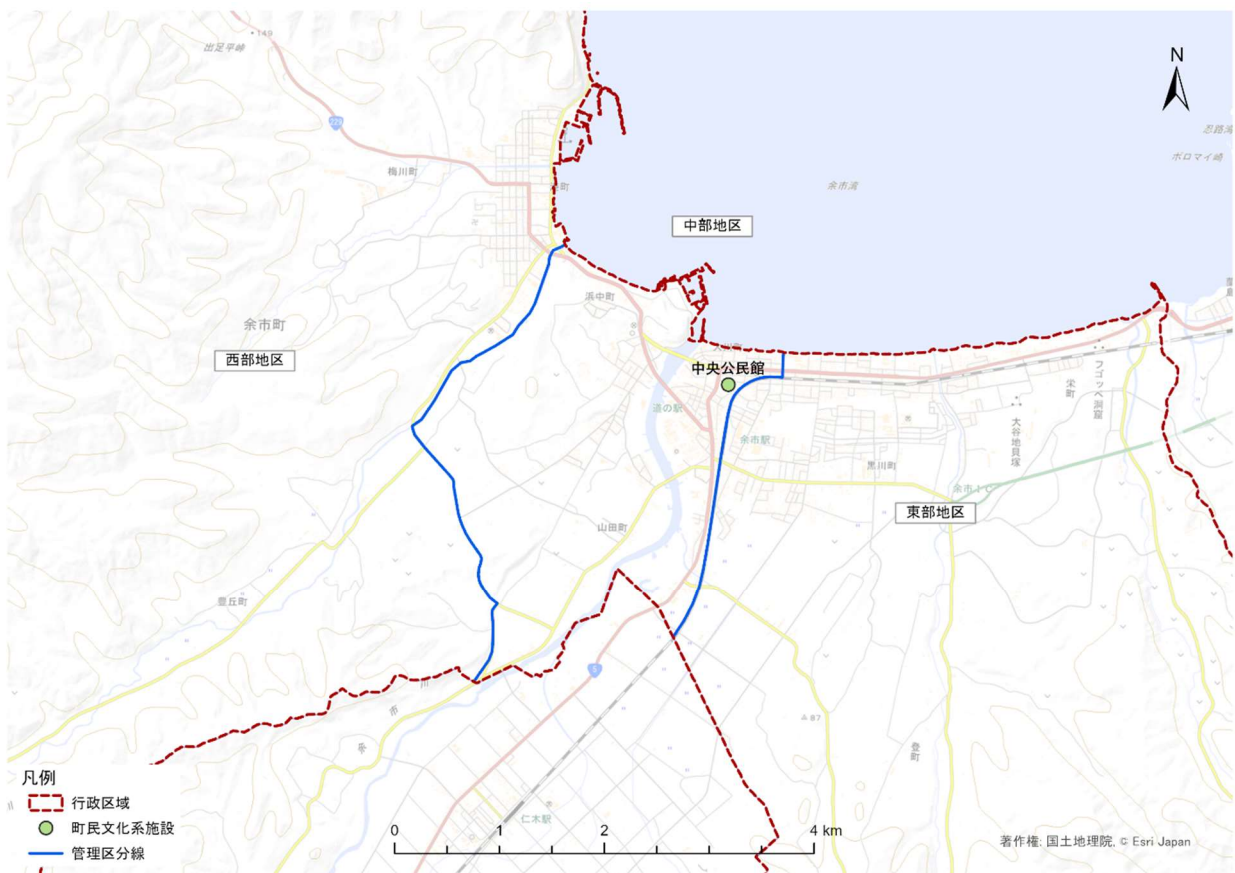


図 3-2 町民文化系施設に関する施設分布状況

3.3.3 社会教育系施設

【概要】

- ・余市町図書館は、1990 年度に建設されており、町の唯一の図書館として重要な役割を果たしている。
- ・余市宇宙記念館は 1997 年度、余市水産博物館は 1968 年度に建設されており、町を代表する社会教育施設として重要な役割を果たしている。

【管理・運営方針】

- ・余市町図書館については、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。
- ・余市宇宙記念館についても同様に、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施するが、利用者数が多い施設である一方、維持管理経費が公共施設の中でも高額となっているので、利用実態や社会情勢の変化に注視しながら機能や運営方針については見直しを検討する。
- ・余市水産博物館は、令和 3 年度に一部修繕と展示機能の強化を実施しているものの、築 53 年と老朽化が進んでいることから、改修・建替えに向けた検討を進める。
- ・R4 年度から着手予定の立地適正化計画の内容を踏まえ明確な方針を定めることとする。



図 3-3 社会教育系施設に関する施設分布状況

3.3.4 スポーツ・レクリエーション施設

【概要】

- ・余市町温水プールは、施設の老朽化により、現在使用できない状況にある。
- ・余市町総合体育館及び余市町ジャンプ台施設等のスポーツ・レクリエーション施設は、広く町民に利用されている。

【管理・運営方針】

- ・余市温水プールは、建設コストと周辺自治体の施設の状況を鑑み、早期に建替え・解体を検討する。
- ・沢西児童生徒あけぼのプールは、現在の利用状況を踏まえ、プール機能の集約の上、解体に向けた検討を進める。
- ・総合体育館及び余市町ジャンプ台施設は、耐震性を評価した上で、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。
- ・余市運動公園内の各施設（自由広場、テニスコート、野球場、陸上競技場）については、スポーツ施設として一定程度の利用があることから、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。
- ・体育館やあゆ場公園（パークゴルフ場）については指定管理制度の導入により民間ノウハウの活用を行っており、一定程度利用があることから、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。
- ・円山公園ふれあい交流施設については直営での管理運営となっており、施設利用者も少ない。一方で町内の公共施設としては比較的新しく、特異な構造や郊外部の都市公園という立地を踏まえると、民間のノウハウを活用することで地域住民や地域経済への還元が期待されることから、民間参入を検討する。



図 3-4 スポーツ・レクリエーション系施設に関する施設分布状況

3.3.5 産業系施設

【概要】

- ・産業系施設は、1976年度～1995年度にかけて建設されている。
- ・観光物産センターは、観光案内機能を有しており、指定管理制度の導入により民間ノウハウの活用を図っている。
- ・その他施設については、基本的に貸館として、町民に利用されている。

【管理・運営方針】

- ・勤労青少年ホームは一定数の利用があるものの、築45年とその他の施設と比較し、老朽化が進行していることが想定され、建設当初から利用実態が変化していることを踏まえ、機能移転や廃止を含めた検討を進める。
- ・各農業構造改善センターについては、比較的少額の維持管理経費で一定数の利用があるため、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、利用状況を踏まえ、周辺施設との統合、機能の複合化、他用途への変更についても検討を進める。
- ・老朽化が進み、利用者の少ない労働福祉会館については建設当初から利用実態が変化していることを踏まえ、今後機能移転や廃止を含めた検討を進める。
- ・同じく利用者の少ない水産加工研修センター、維持管理経費も比較的高額で特異な機能を持つ農村活性化センターについては、民間のノウハウを活用することで地域住民や地域経済への還元が期待されることから、民間参入を検討する。
- ・観光物産センターについては指定管理制度の導入により民間ノウハウの活用を図っているものの、利用者の少ない貸館部分の運用について利活用に向けた検討を行う。



図 3-5 産業系施設に関する施設分布状況

3.3.6 子育て支援施設

【概要】

- ・子育て支援施設は、1966年度～1982年度にかけて建設されている。

【管理・運営方針】

- ・保育所については、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、所管部署において今後の利用状況及び老朽化状況に応じた統廃合について検討を進める。
- ・沢町児童館については一定の利用があるものの、施設の老朽化が進んでいると考えられるため、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、周辺施設との統合、機能の複合化を検討する。
- ・黒川児童館については、児童館機能が他の施設等で充足されてきたことなどから利用者数の減少が続いており、施設の老朽化が進んでいることから、廃止に向けた調整を行う。
- ・R4年度から着手予定の立地適正化計画の内容を踏まえ明確な方針を定めることとする。

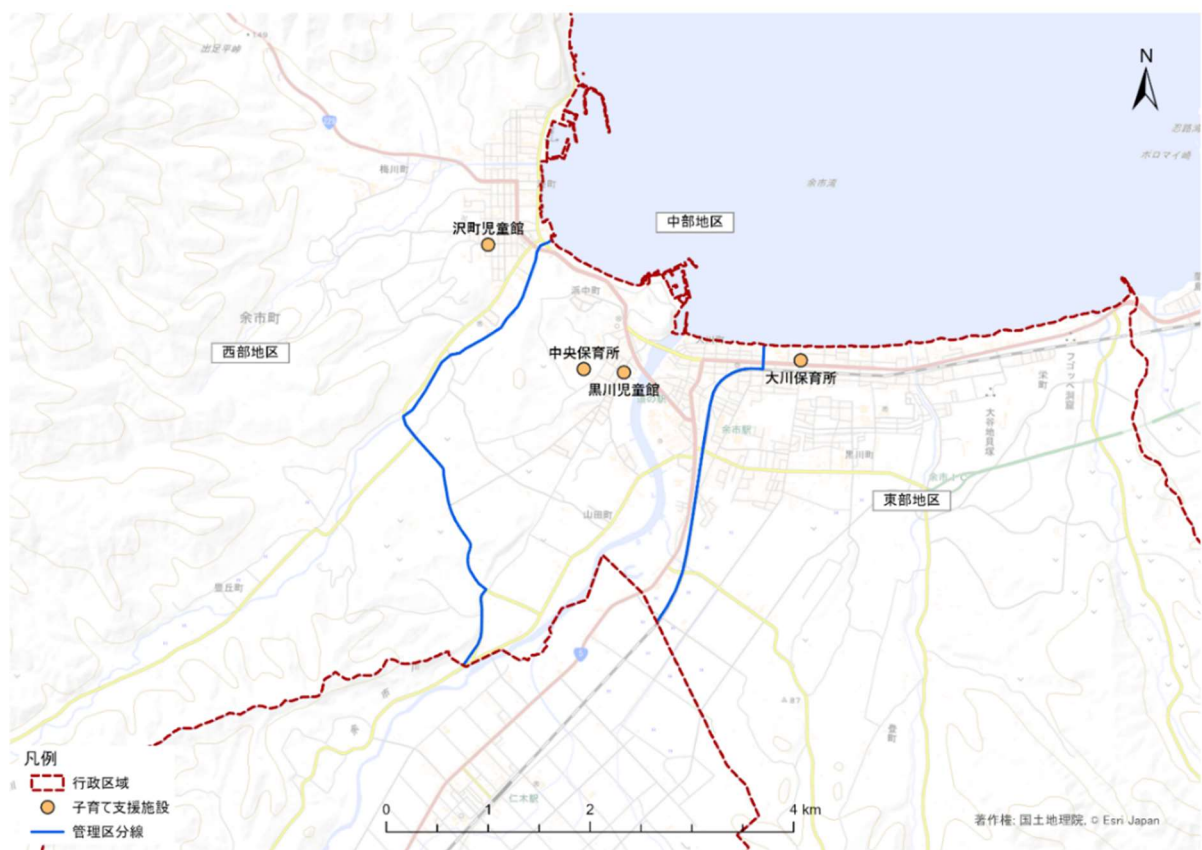


図 3-6 子育て支援施設に関する施設分布状況

3.3.7 保健・福祉施設

【概要】

- ・保健・福祉施設は、1966年度～1996年度にかけて建設されている。
- ・基本的に貸館として、町民に利用されている。

【管理・運営方針】

- ・各施設とも、当面は必要に応じて小規模な修繕・改修等を実施しながら、利用状況及び老朽化状況を踏まえ、周辺施設との統合、機能の複合化、他用途への変更について検討を進める。
- R4年度から着手予定の立地適正化計画の内容を踏まえ、明確な方針を定めることとし、特に地域住民の集会所として利用されている個別施設の具体的な議論については周辺住民へのヒアリング等を行いながら進める。

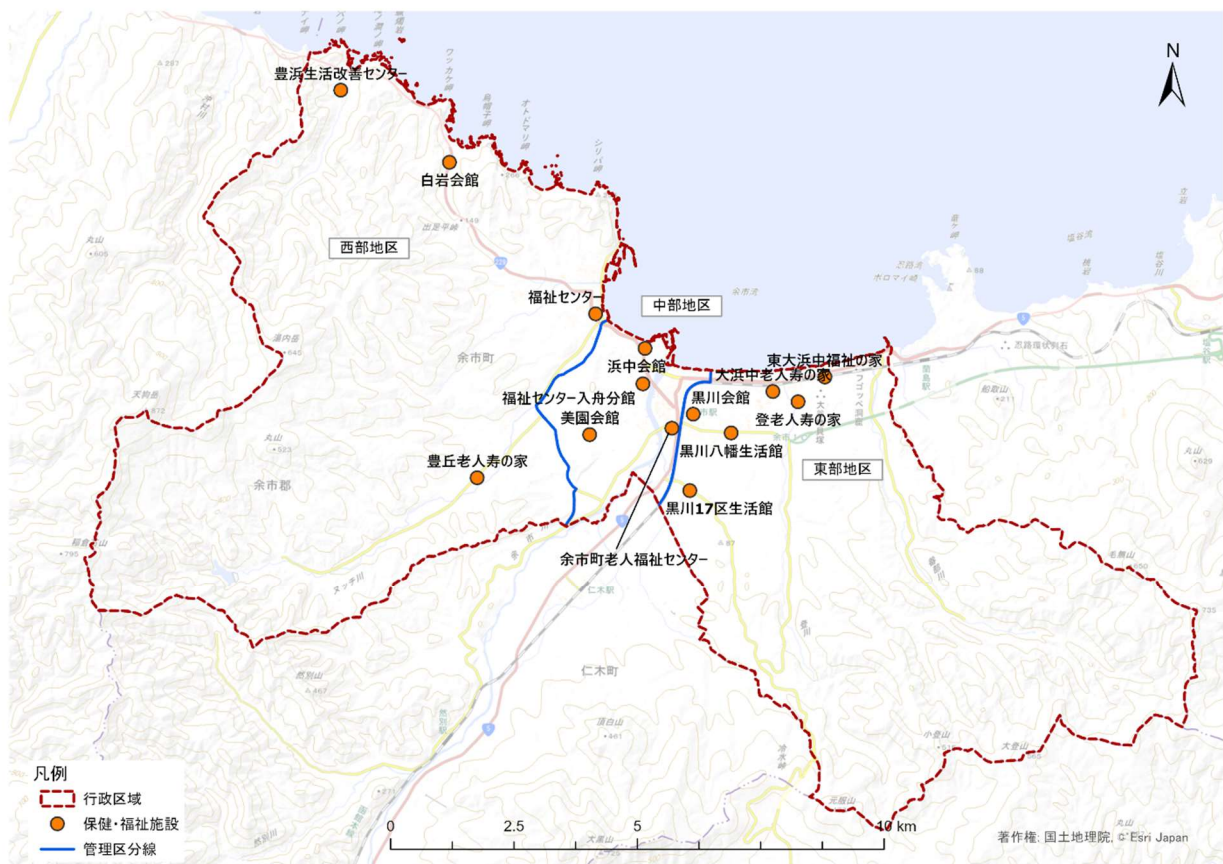


図 3-7 保健・福祉施設に関する施設分布状況

3.3.8 行政系施設

【概要】

- ・余市町役場は、1971年に建設されている。
- ・各種倉庫は、基本的に中部地区に集約されている。

【管理・運営方針】

- ・余市町役場は、余市町の防災拠点、行政サービスの拠点施設であることから、自治体 DX を踏まえた町民の利便性、事務効率化に向け、建替え・改修等に関する検討を早期に実施する。
- ・各種倉庫について、当面は必要に応じて必要な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。このうち除雪車両やダンプを格納している除雪センター車庫については施設の代替や複合化が困難なことから、建替え・改修に関する検討を早期に実施する。
- ・R4 年度から着手予定の立地適正化計画の内容を踏まえ、明確な方針を定めることとする。

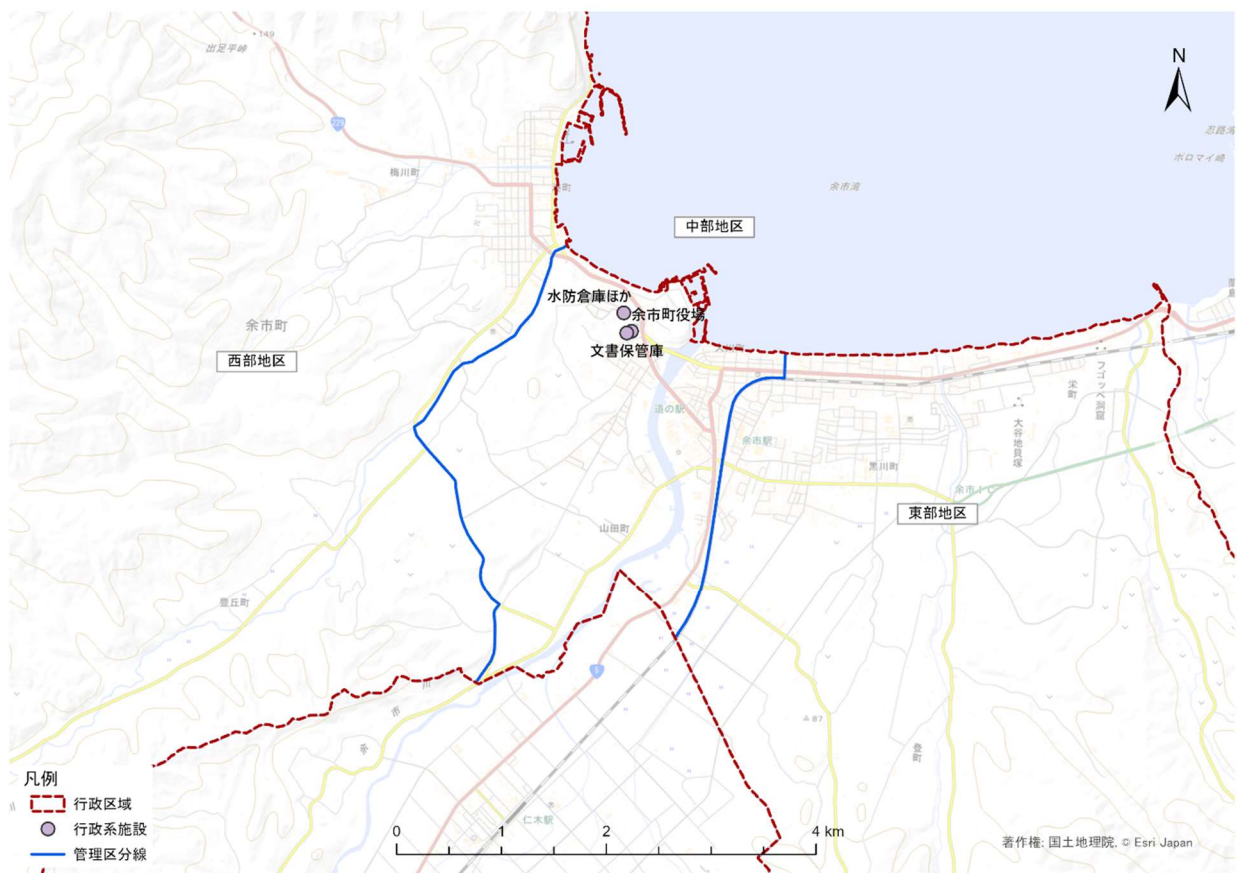


図 3-8 行政系施設に関する施設分布状況

3.3.9 その他

【概要】

- ・余市町斎場は、1973年に建設されているが、老朽化のため、早期の建替えが求められている。
- ・農道離陸場管理棟は、1996年に建設されている。
- ・余市消防署は、1995年に建設されている。

【管理・運営方針】

- ・余市町斎場は、所管部署において早期建替えに向けた検討を実施する。
- ・農道離陸場管理棟は、当面は必要に応じて必要な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施する。
- ・余市消防署は、災害の迅速な消火・救助活動が求められることから、当面は必要に応じて必要な修繕・改修等を実施しながら、施設の維持・管理を実施し、老朽化が著しく進行した場合には施設の移転等の建替え・改修について検討を進める。
- ・R4年度から着手予定の立地適正化計画の内容を踏まえ、明確な方針を定めることとする。



図 3-9 その他施設に関する施設分布状況

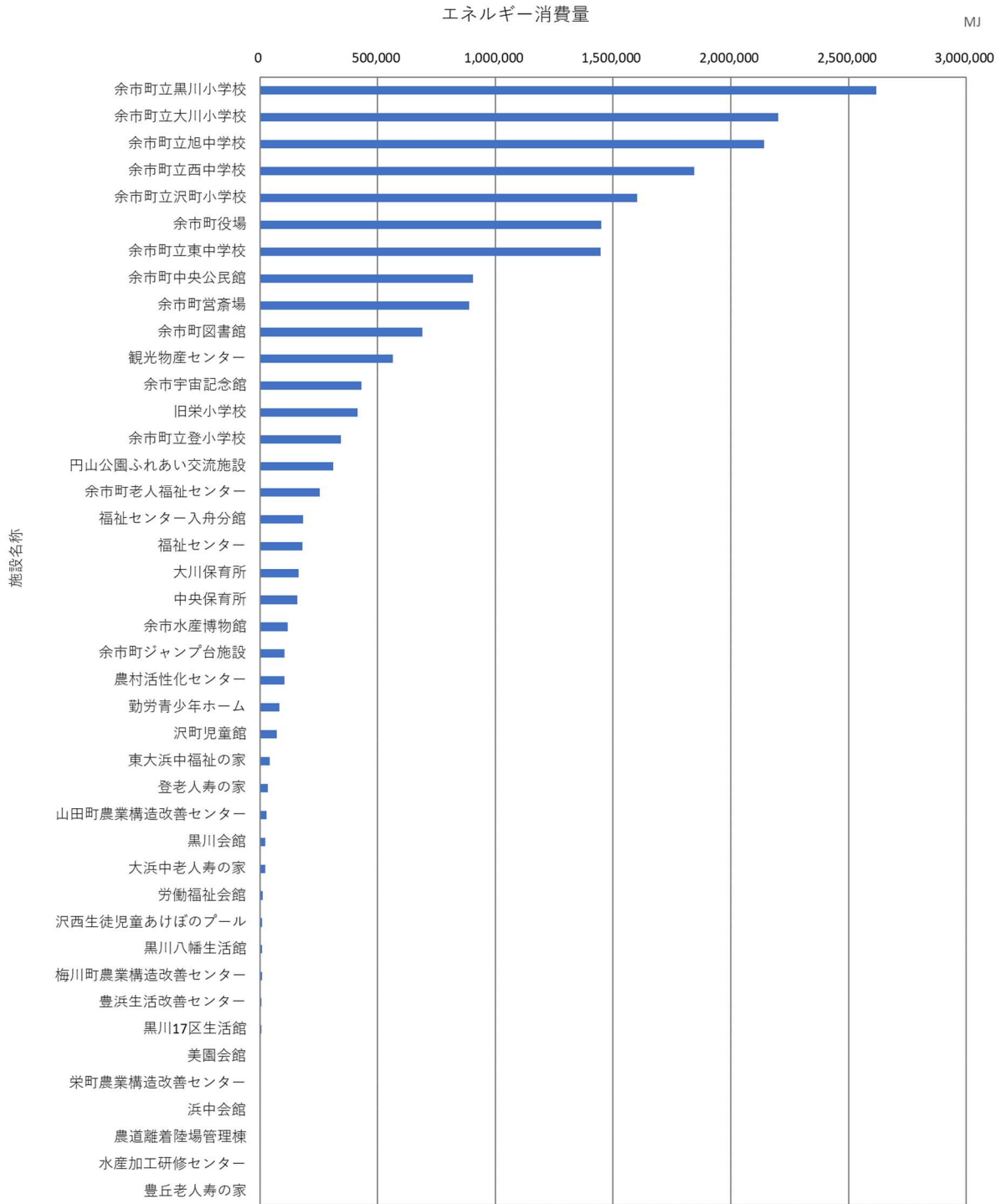


図 4-3 施設別エネルギー消費量

前頁までの分析及び施設に関する評価を踏まえると、対象候補施設として、以下に示す施設が挙げられる。

表 4-1 再エネ導入・省エネ推進を実施すべき候補施設一覧

大分類	対象施設
学校教育系施設	余市町立黒川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立大川小学校、余市町立西中学校、余市町立旭中学校
町民文化系施設	余市町中央公民館
社会教育系施設	余市町図書館
スポーツ・レクリエーション系施設	余市町総合体育館
行政系施設	余市町役場
その他	余市町営斎場

また、各施設の状況や政策的判断を踏まえ、最終的に再エネ導入検討施設を抽出した。

表 4-2 再エネ導入・省エネ推進を実施すべき候補施設一覧

大分類	対象施設	再エネ導入検討施設
学校教育系施設	余市町立黒川小学校、余市町立沢町小学校、余市町立大川小学校、余市町立西中学校、余市町立旭中学校	— ・学校教育系施設については、今後の更なる少子高齢化の進行を見据え、今後統廃合に向けた検討を進めていくことになるため、ここでは対象外とする。
町民文化系施設	余市町中央公民館	○ ・余市町中央公民館は、貸館利用者が年間約 42,700 人と圧倒的な利用者数を誇っており、建替え・改修に合わせた再エネ導入・省エネ推進の効果が期待される。
社会教育系施設	余市町図書館	○ ・余市町図書館は、町内唯一の図書館として今後とも施設の継続利用が見込まれるため、建替え・改修に合わせた再エネ導入・省エネ推進の効果が期待される。
スポーツ・レクリエーション系施設	余市町総合体育館	○ ・余市町総合体育館は、余市町を代表とするスポーツ・レクリエーション施設として広く町民に利用されており、今後とも施設の継続利用が見込まれる一方で、エネルギー消費量が高い状況にある。そのため、今後建替え・改修に合わせた再エネ導入・省エネ推進の効果が期待される。
行政系施設	余市町役場	— ・築 50 年と候補の中では最も老朽化しているとともに、町役場は行政サービスの拠点であるため、今後他機能との統合を含め庁舎のあり方を検討していくことになるため、ここでは対象外とする。
その他	余市町営斎場	— ・斎場については、老朽化のため、早期の建替えが求められる状況にあるが、今後の整備の方向性を含め、現在検討中であるため、対象外とする。
	道の駅	○ ・余市 IC 周辺で検討が進められている道の駅では、積極的に再エネ導入を進める。